

鳥取県感染症発生動向調査情報(月報)

令和7年11月26日(水)
感染症対策センター
(衛生環境研究所)

令和7年第40週から第44週までの患者報告の状況

1 報告の多い疾病(急性呼吸器感染症(ARI)定点の急性呼吸器感染症を除く。)

今回(40週～44週)5週 (R7.9.29～R7.11.2)	前回(35週～39週)5週 (R7.8.25～R7.9.28)	前々回(30週～34週)5週 (R7.7.21～R7.8.24)
1 感染性胃腸炎 (414) [↓167]	1 新型コロナウイルス感染症 (1,073)	1 新型コロナウイルス感染症 (720)
2 新型コロナウイルス感染症 (315) [↓758]	2 感染性胃腸炎 (581)	2 感染性胃腸炎 (439)
3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (249) [↓60]	3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (309)	3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (222)
4 RSウイルス感染症 (142) [↑24]	4 RSウイルス感染症 (118)	4 ヘルパンギーナ (136)
5 インフルエンザ (126) [↑112]	5 伝染性紅斑 (62)	4 伝染性紅斑 (71)
6 その他 (187) [↑22]	6 その他 (165)	6 その他 (195)
(合計 1,433)	(合計 2,308)	(合計 1,783)

※急性呼吸器感染症(ARI)定点29、小児科定点19、眼科定点5、基幹定点5からの報告数である。
※[]内は前回との比較を表す。↑は増加したもの、↓は減少したもの、数値は増減の件数である。

2 前回との比較増減(急性呼吸器感染症(ARI)定点の急性呼吸器感染症を除く。)

増加した疾病	減少した疾病
インフルエンザ 800%	新型コロナウイルス感染症 71%
マイコプラズマ肺炎 48%	伝染性紅斑 48%
RSウイルス感染症 20%	感染性胃腸炎 29%
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 19%

3 急性呼吸器感染症(ARI)報告数

第40週から第44週の患者報告数は、8,484件であった。

<急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスとは>

咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例に一致する患者数の発生を把握する症候群サーベイランスです。

なお、急性呼吸器感染症(ARI)の症例定義を満たし、さらに別の定点把握対象感染症で診断された場合、両方に報告されます。

4 コメント

【インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症】

10月以降インフルエンザの流行が始まり、学校の臨時休業等も発生しています。また、新型コロナウイルス感染症は一定数の患者報告が続いており、集団感染事例も散発しているため、注意が必要です。

手洗い、換気、場面に応じたマスク着用などの感染防止対策が有効です。咽頭痛や発熱など体調が悪い場合や陽性が判明した場合は自宅で安静に過ごし、症状に応じて医療機関を受診される際は、事前に電話相談の上、受診しましょう。また、ワクチンは主に重症化予防に効果がありますので、希望される方は早めの接種を検討しましょう。

【マイコプラズマ肺炎】

全国的に感染者数が増加しており、本県においても7月以降増加しています。手洗い、咳エチケット及びタオルの共用を避けるなどの感染予防をお願いします。

【百日咳】

昨年夏から続く流行は8月以降減少傾向となっていますが、今年の感染者数は既に昨年の年間報告数のおよそ1.7倍となっており、小中学生を中心に患者報告が続いています。長く続く咳が特徴で、感染力が非常に強いため、注意が必要です。有効な予防法は予防接種であり、乳幼児期に定期接種を受けることが重要ですが、ワクチンの免疫効果は4～12年で弱まってくるといわれており、接種済みの方でも感染することがあります。ワクチン未接種である新生児や早期乳児が感染すると重症化しやすいため、赤ちゃんや妊産婦のおられるご家庭では、周囲の家族などが感染源とならないよう特に注意してください。咳などの症状がある場合は早めに受診し、手洗い、マスクの着用、咳エチケット等の感染予防をお願いします。

【感染性胃腸炎】

感染者数が多い状況であり、注意が必要です。原因となるウイルスはアルコールが効きにくいいため、トイレやオムツなどの汚物処理の後や、調理、食事の前などには、手洗いを徹底しましょう。感染した人の便や吐物を処理する場合には、ゴム手袋やマスクを着用し、処理後の床や感染した人が触れた物などは、塩素系の消毒剤を使用して消毒しましょう。

【梅毒】

令和6年は過去最多の41件、令和7年も10月時点で29件の感染が報告されており、引き続き注意が必要です。感染した場合は、適切な治療が必要であり、早期発見することで感染症拡大防止につながります。感染の不安があるときは、早めに医療機関や保健所で検査を受けましょう。

令和7年第40週～第44週の報告患者数

令和7年11月7日 作成

区 分		今回報告患者数 第40週～第44週(5週分)					前回報告患者数 第35週～第39週(5週分)				前々回報告患者数 第30週～第34週(5週分)				前回比 増 減	令和7年 患者数 累 計
		東部	中部	西部	計	増減	東部	中部	西部	計	東部	中部	西部	計		
		(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
急性呼吸器感染症(ARI)定点数		(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
1	インフルエンザ	25	17	84	126	112	1	4	9	14	1	5	19	25	800%	3,992
2	新型コロナウイルス感染症	119	63	133	315	-758	354	289	430	1,073	238	209	273	720	-71%	4,794
小児科定点数		(8)	(4)	(7)	(19)		(8)	(4)	(7)	(19)	(8)	(4)	(7)	(19)		
3	咽頭結膜熱	1	7	3	11	1	5	4	1	10	9	3	9	21	10%	208
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	117	26	106	249	-60	160	34	115	309	134	23	65	222	-19%	2,668
5	感染性胃腸炎	196	120	98	414	-167	280	156	145	581	187	152	100	439	-29%	4,751
6	水痘	5	6	20	31	14	5	3	9	17	1	4	16	21	82%	234
7	手足口病	0	3	0	3	2	0	0	1	1	7	4	0	11	200%	72
8	伝染性紅斑	19	8	5	32	-30	30	18	14	62	40	13	18	71	-48%	562
9	突発性発疹	5	4	3	12	-7	4	8	7	19	6	4	10	20	-37%	145
10	ヘルパンギーナ	1	3	0	4	-18	7	12	3	22	80	48	8	136	-82%	306
11	流行性耳下腺炎	0	0	0	0	-2	1	0	1	2	1	2	0	3	-100%	20
12	RSウイルス感染症	65	13	64	142	24	55	10	53	118	12	9	9	30	20%	522
眼科定点数		(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
13	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	1
14	流行性角結膜炎	15	1	6	22	-10	21	5	6	32	7	0	5	12	-31%	97
基幹定点数		(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
15	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	4
16	無菌性髄膜炎	1	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0	1	3	—	14
17	マイコプラズマ肺炎	20	47	4	71	23	16	29	3	48	20	24	5	49	48%	271
18	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0
19	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	12

※中部の基幹定点は小児科定点と共通のため、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)の件数は感染性胃腸炎の内数となります。

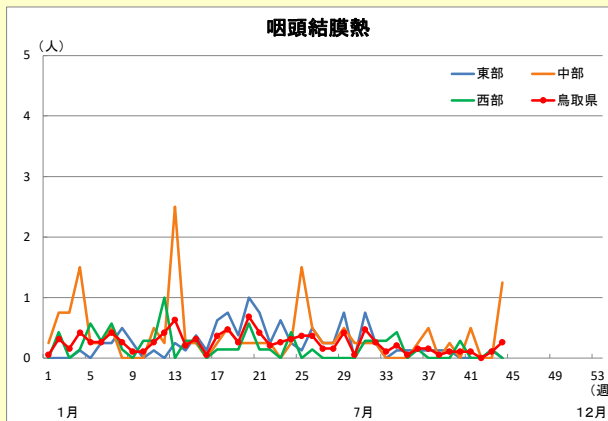
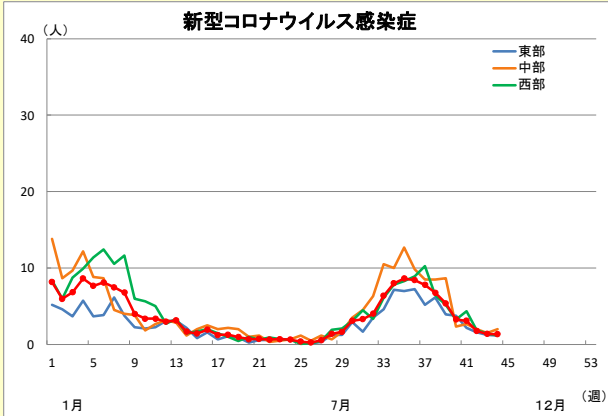
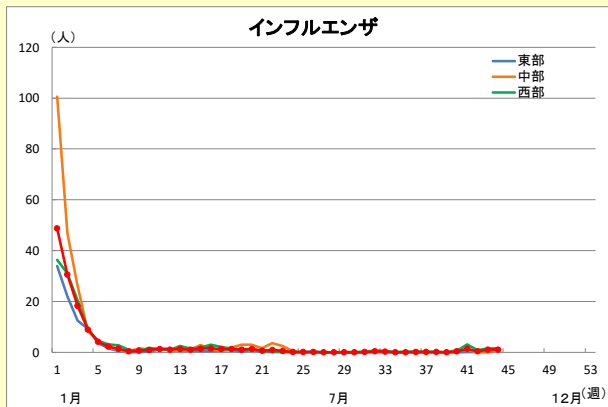
急性呼吸器感染症(ARI)定点数	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
20 急性呼吸器感染症(ARI)	3,307	2,018	3,159	8,484	111	3,221	2,144	3,008	8,373	2,594	1,658	2,223	6,475	1%	47,065

※急性呼吸器感染症(ARI)の症例定義を満たし、さらに上記の他疾病で診断された場合、両方に報告されています。

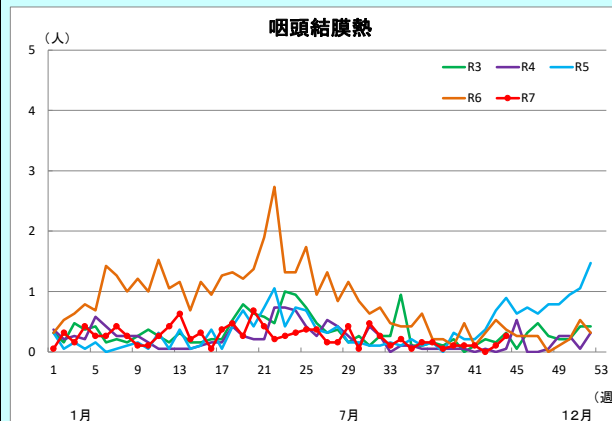
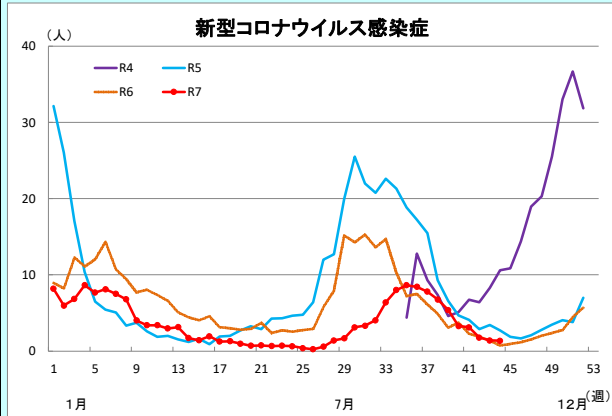
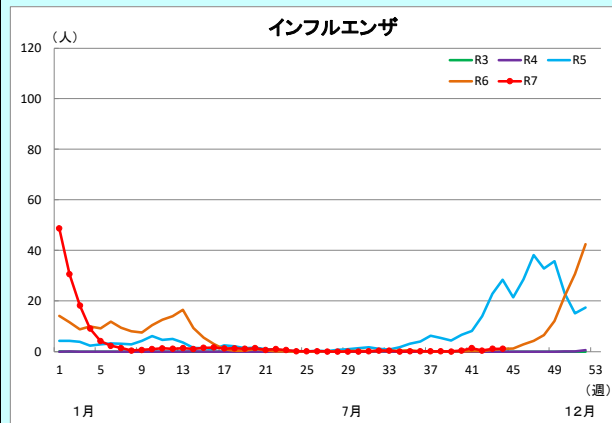
合 計	3,896	2,336	3,685	9,917	-764	4,160	2,716	3,805	10,681	3,339	2,158	2,761	8,258	-7%	65,738
-----	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-----	--------

※令和7年4月7日から急性呼吸器感染症(ARI)が追加され、「インフルエンザ/COVID-19定点」は「急性呼吸器感染症(ARI)定点」に変更されました。

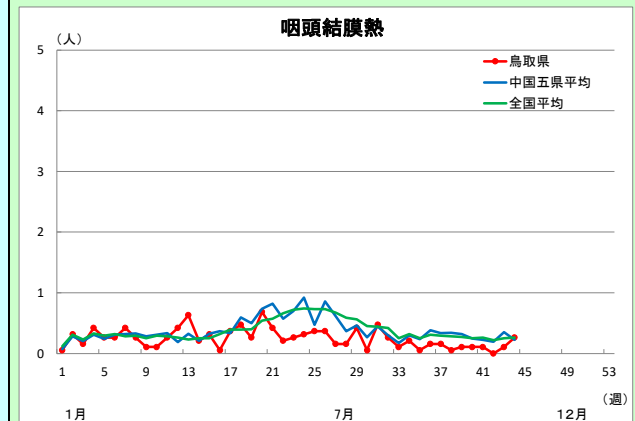
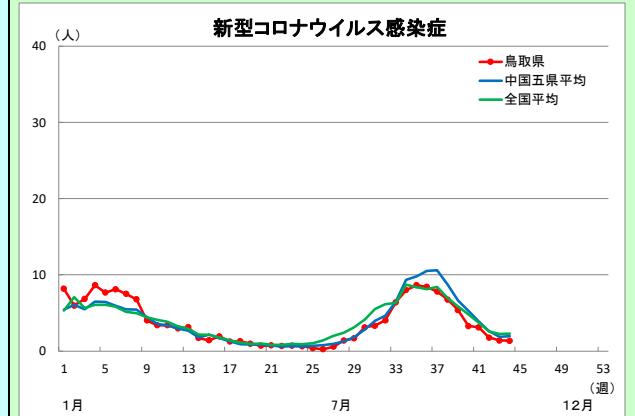
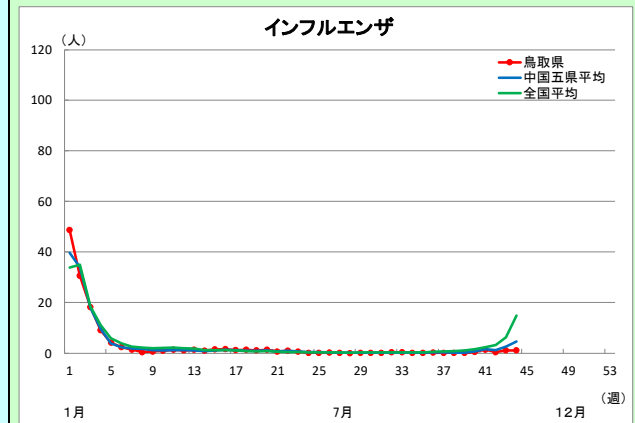
地区発生状況(定点当たり)



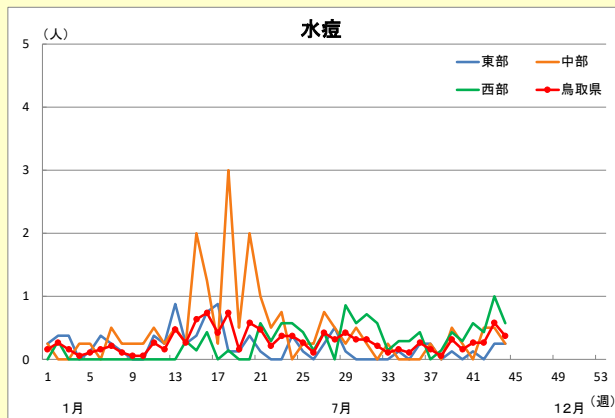
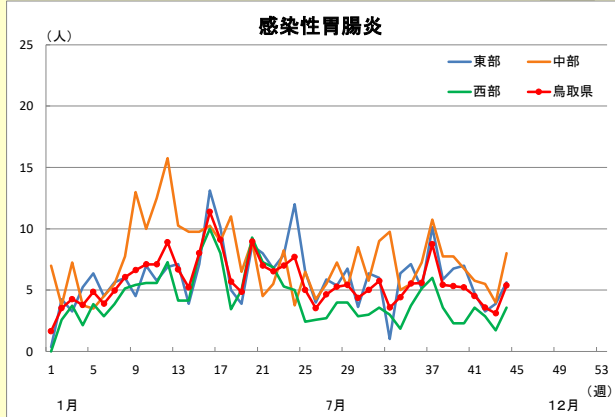
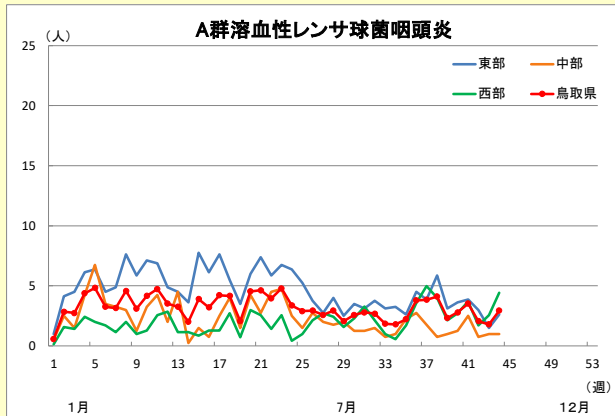
年次別発生状況(定点当たり)



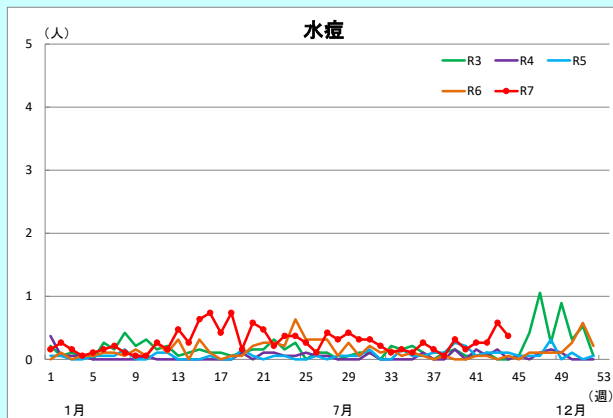
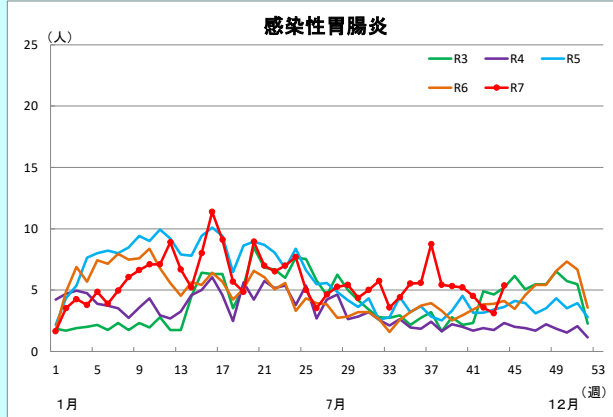
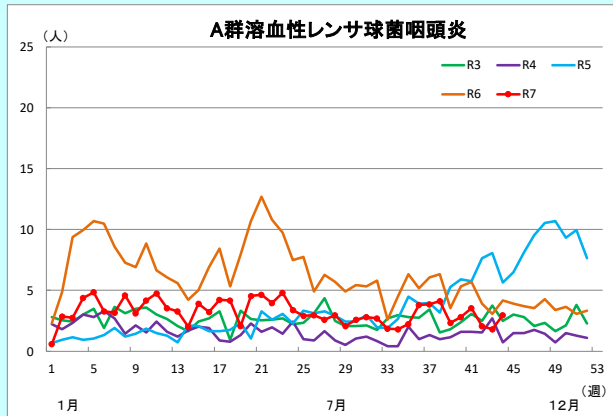
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



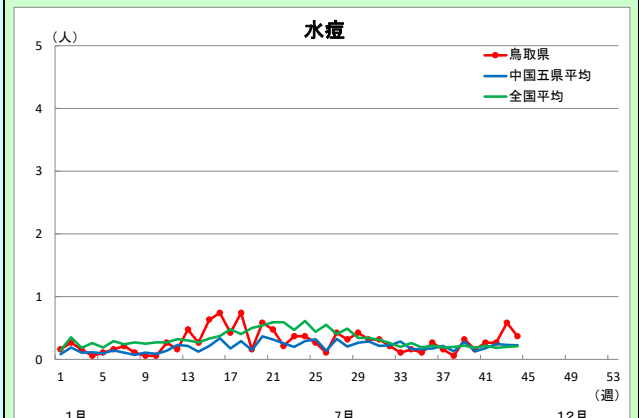
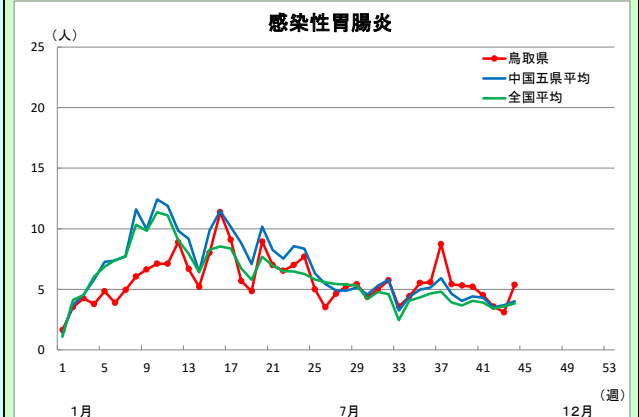
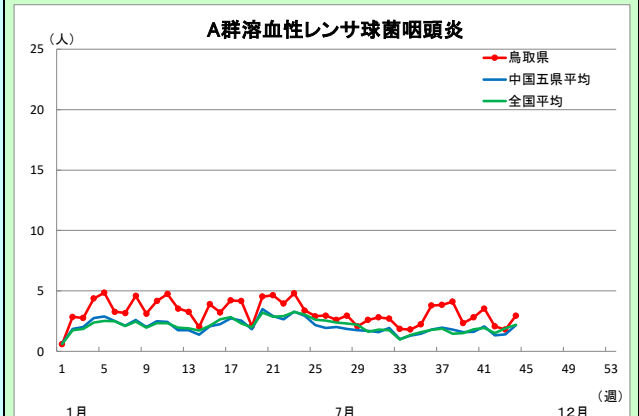
地区発生状況(定点当たり)



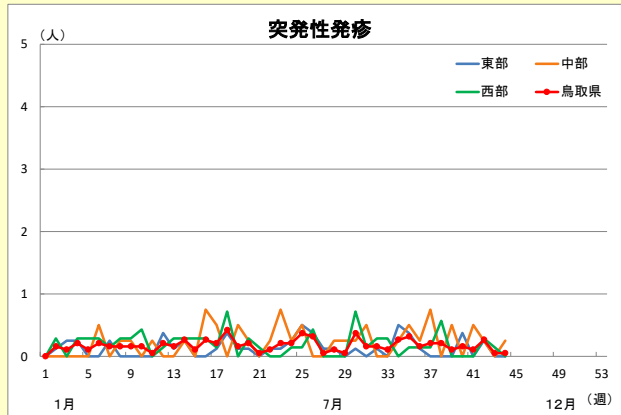
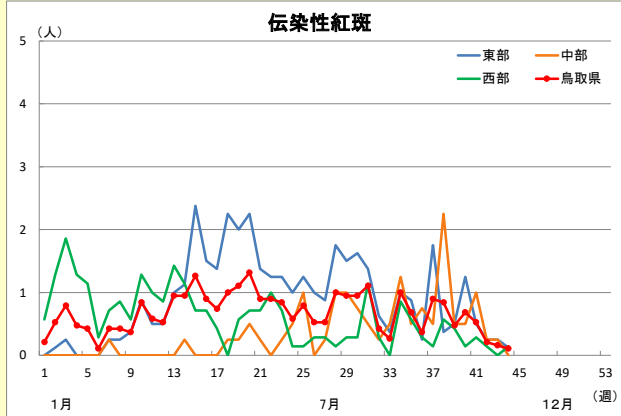
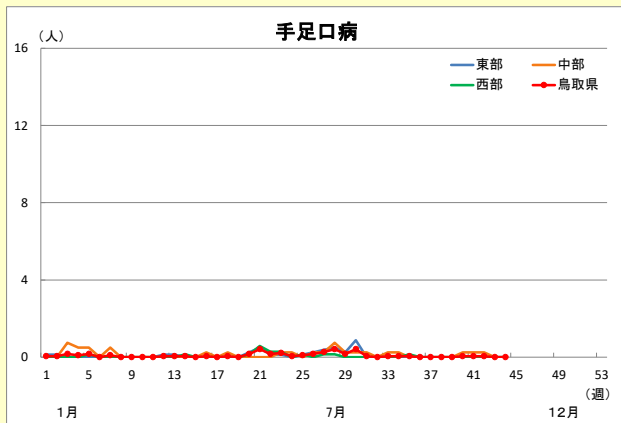
年次別発生状況(定点当たり)



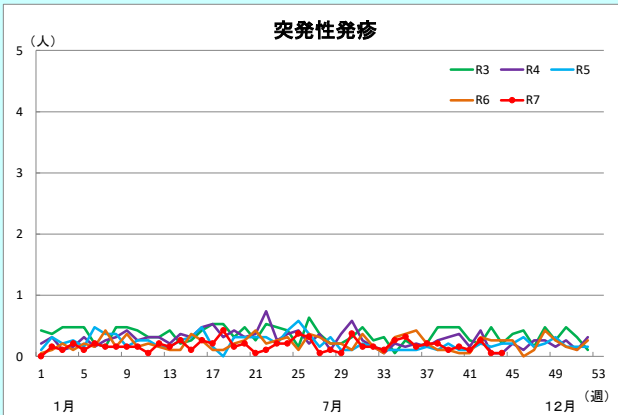
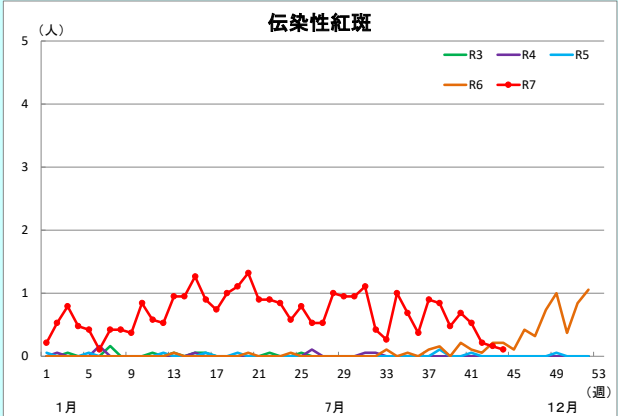
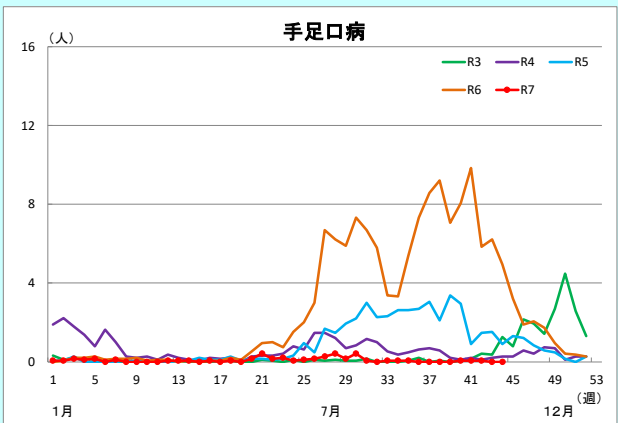
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



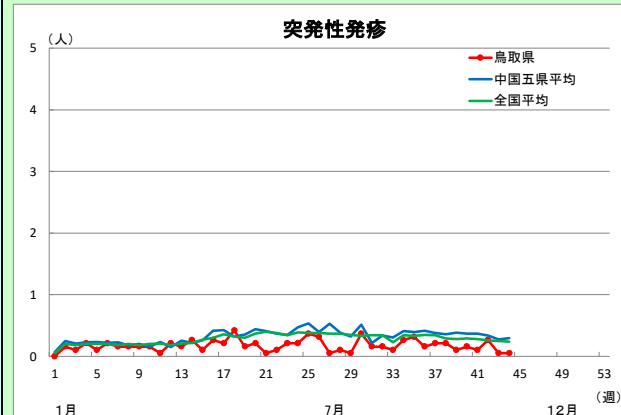
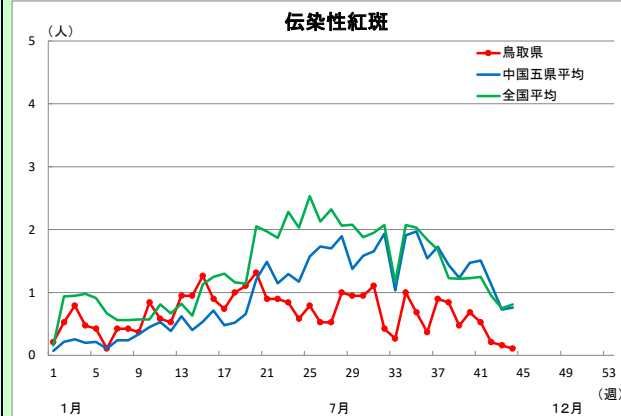
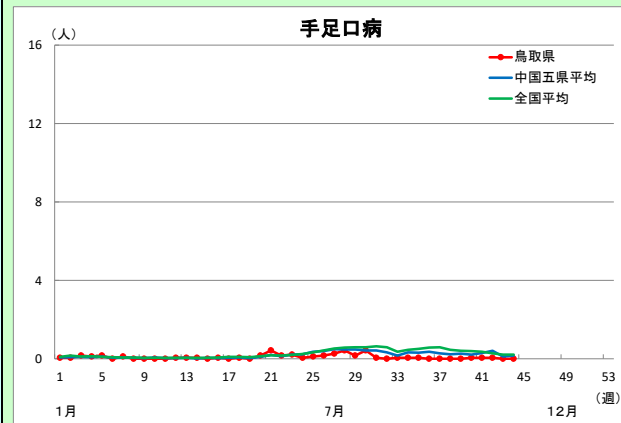
地区発生状況(定点当たり)



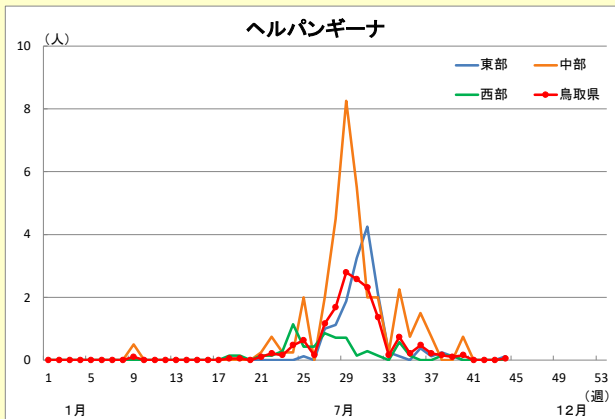
年次別発生状況(定点当たり)



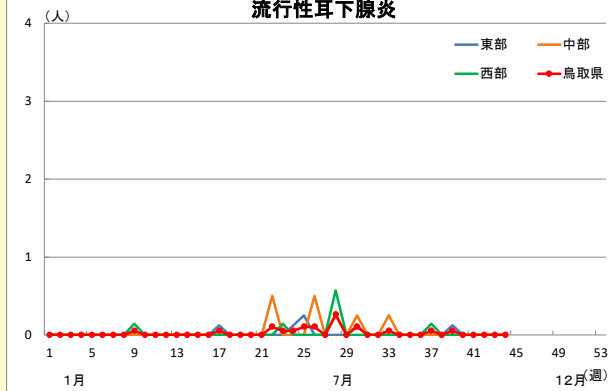
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



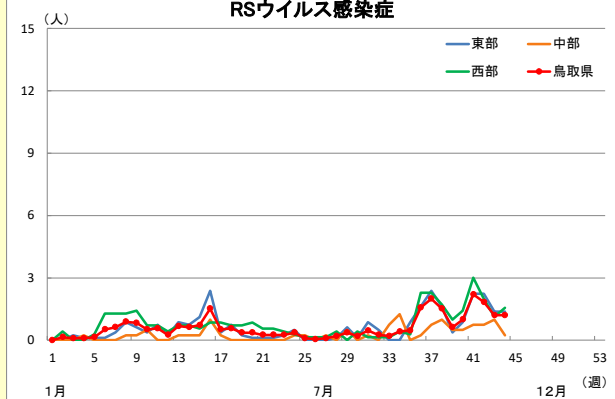
地区発生状況(定点当たり)



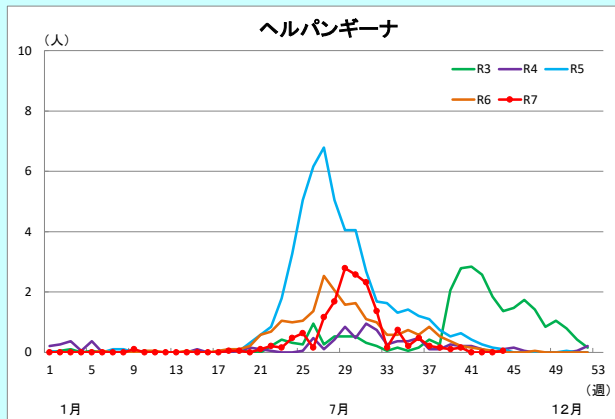
流行性耳下腺炎



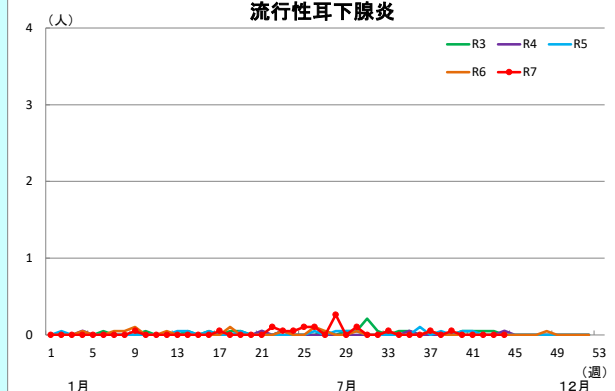
RSウイルス感染症



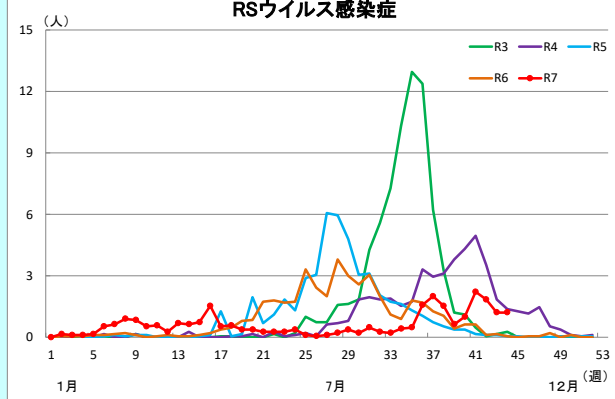
年次別発生状況(定点当たり)



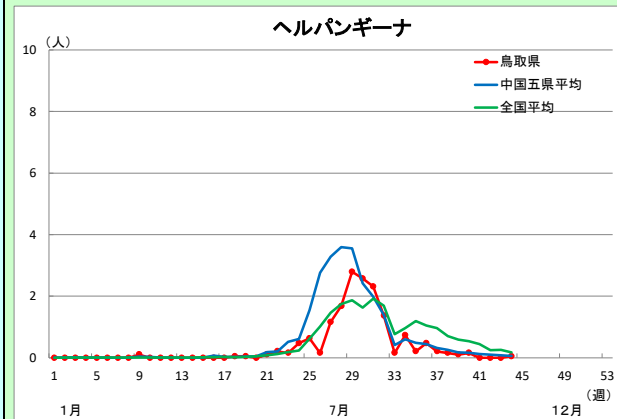
流行性耳下腺炎



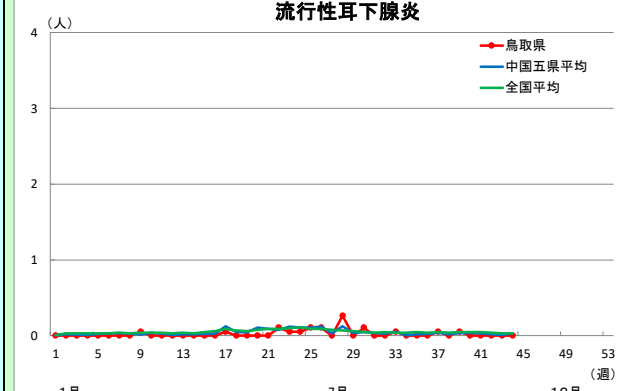
RSウイルス感染症



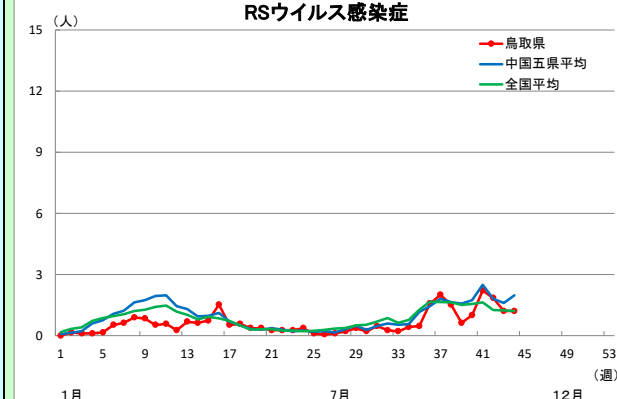
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



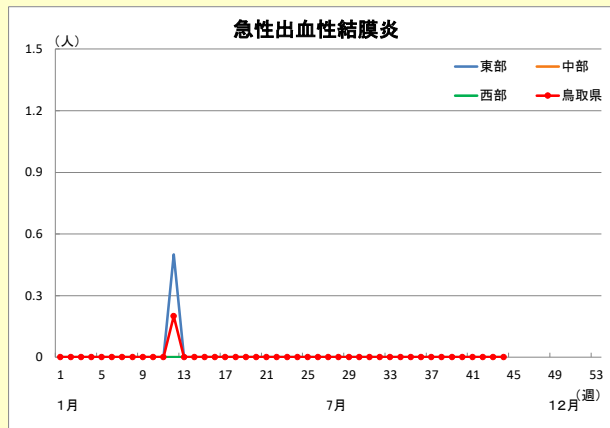
流行性耳下腺炎



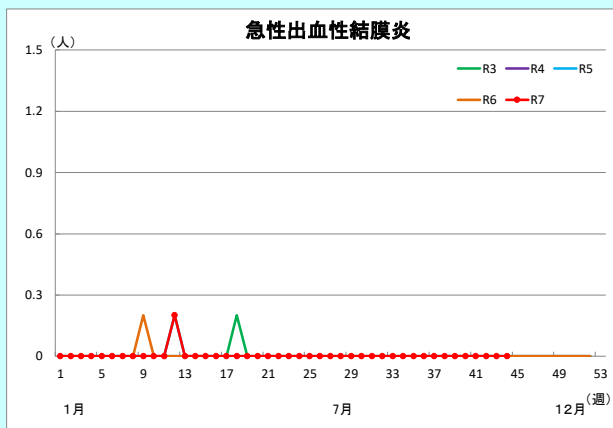
RSウイルス感染症



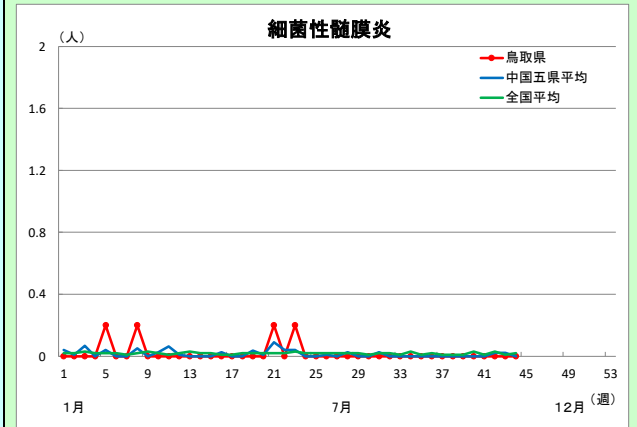
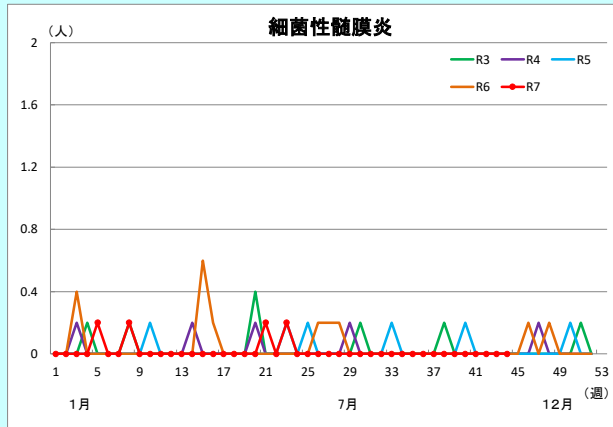
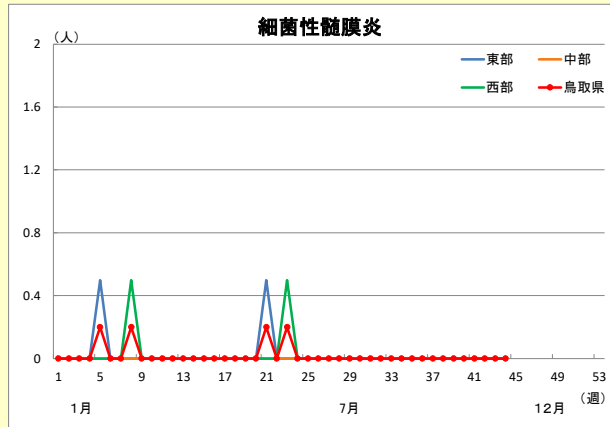
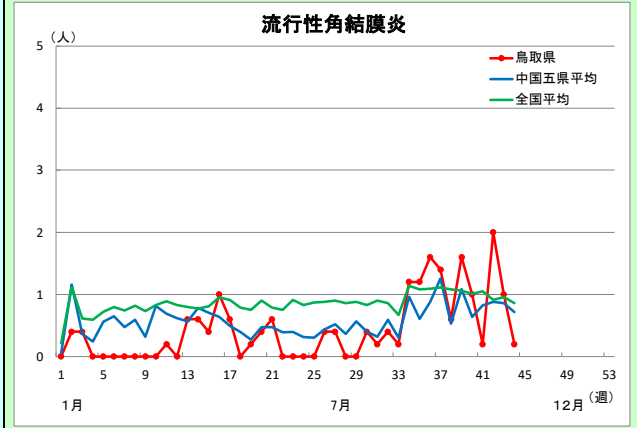
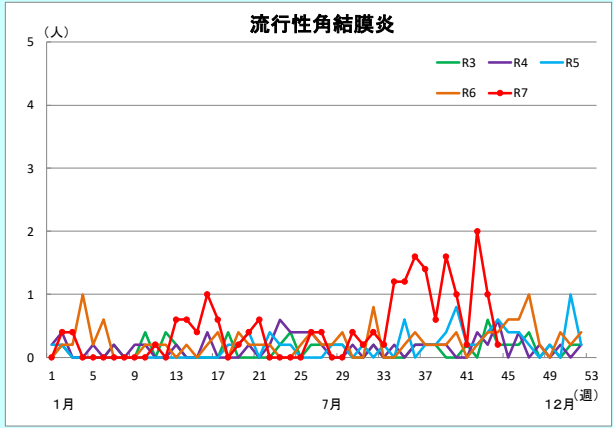
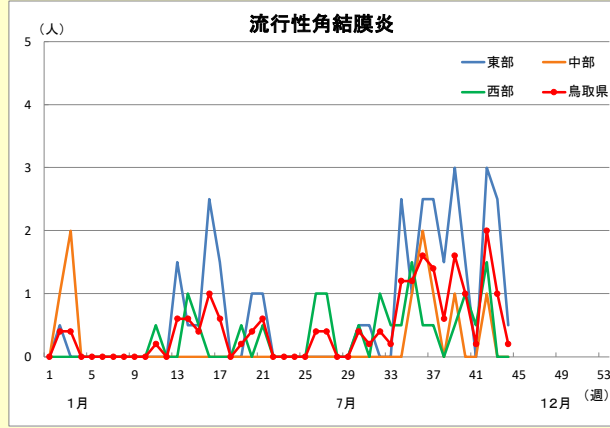
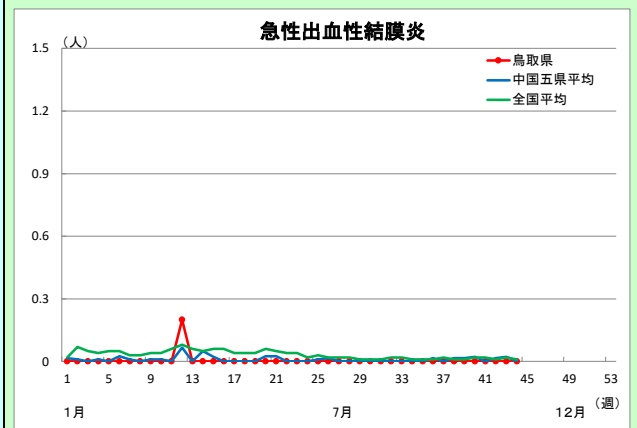
地区発生状況(定点当たり)



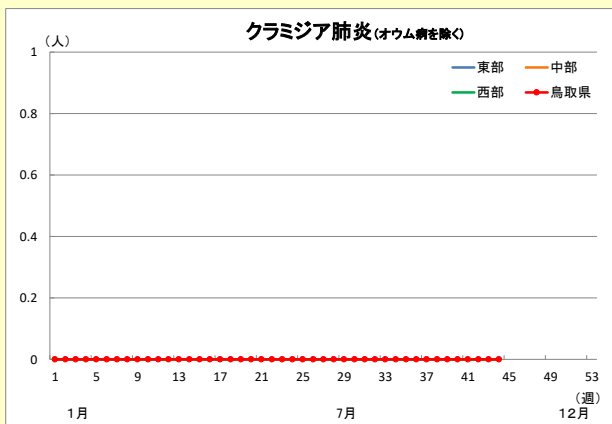
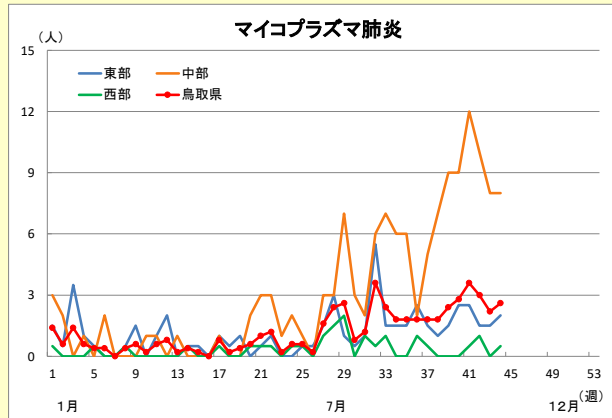
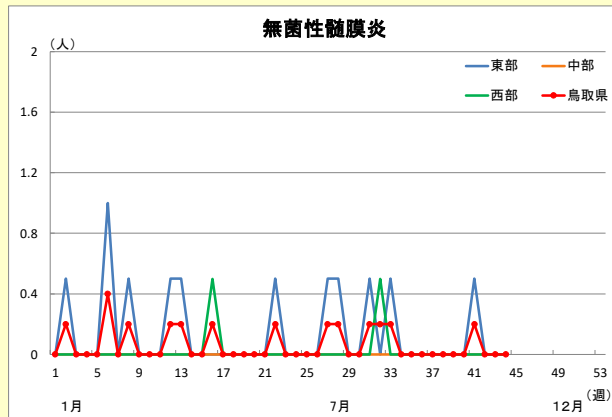
年次別発生状況(定点当たり)



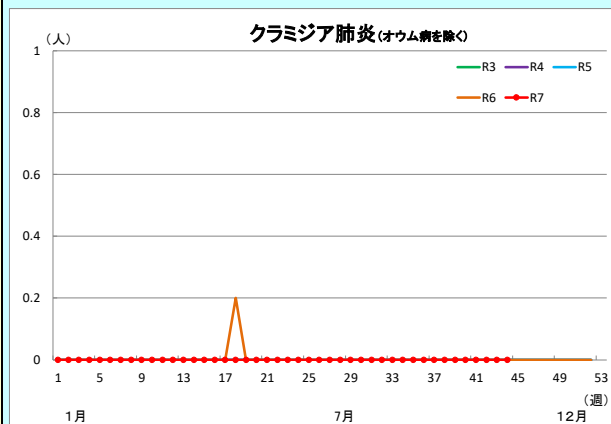
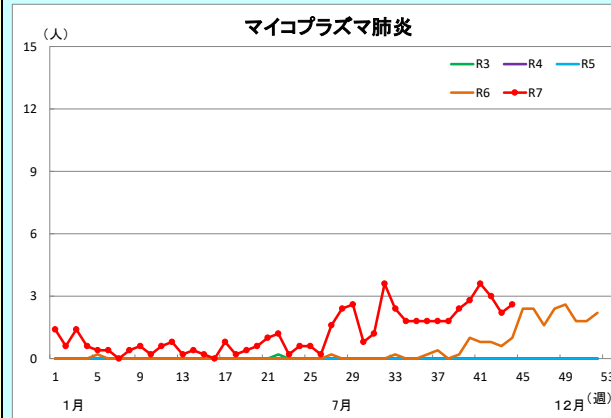
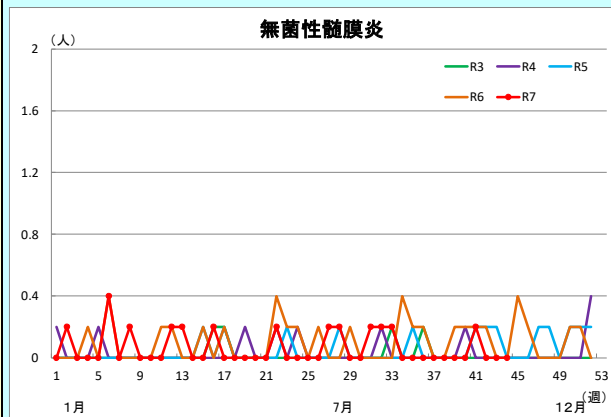
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



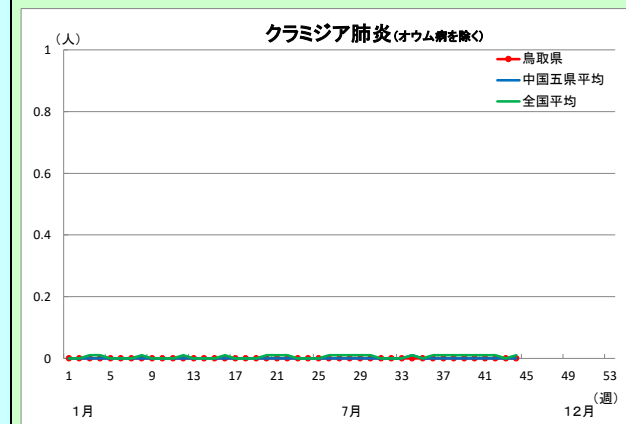
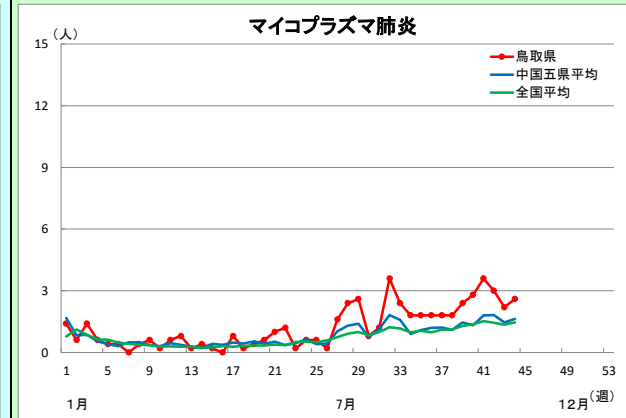
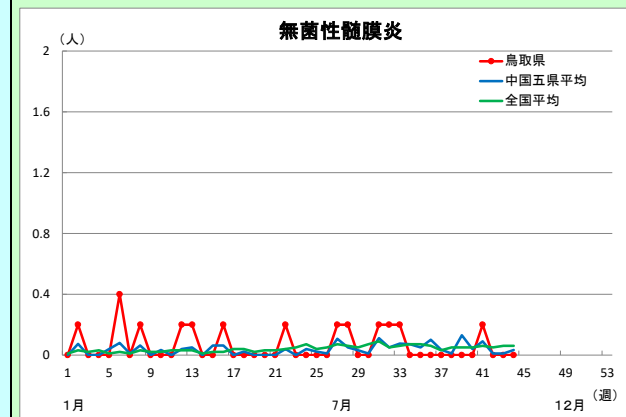
地区発生状況(定点当たり)



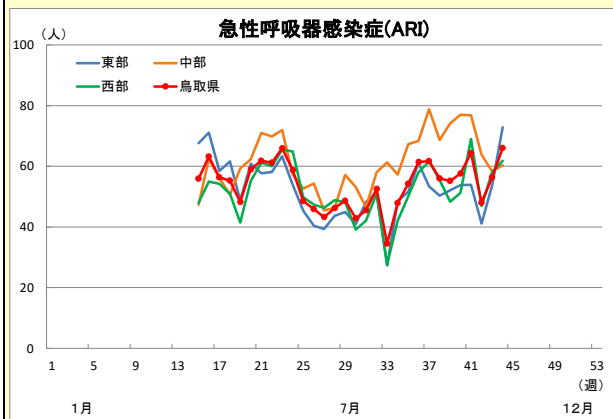
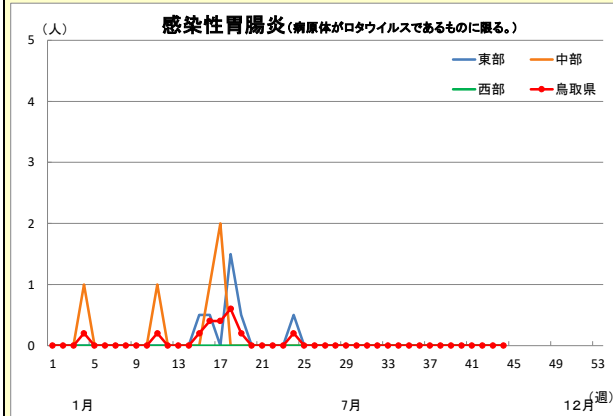
年次別発生状況(定点当たり)



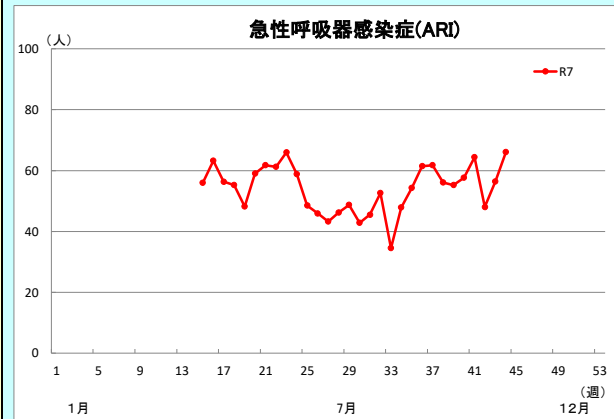
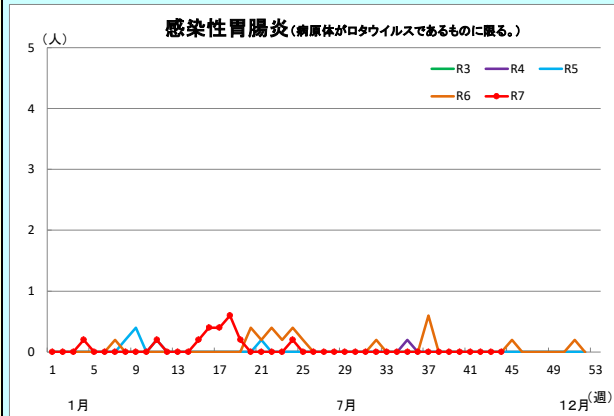
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



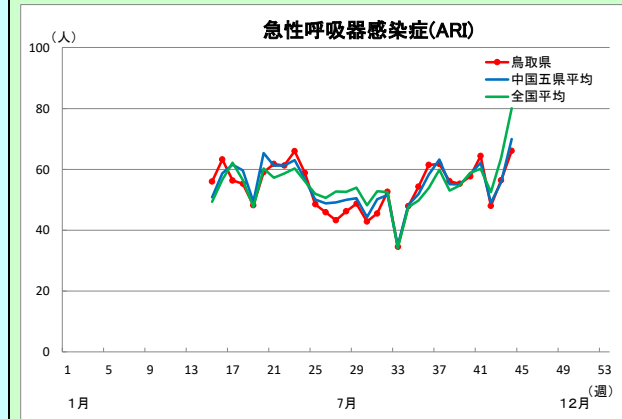
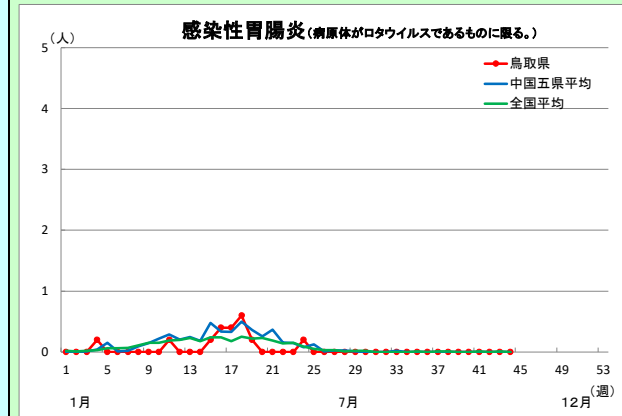
地区発生状況(定点当たり)



年次別発生状況(定点当たり)



中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



注)新型コロナウイルス感染症は、令和5年第18週(5/1~5/7)までは全数報告分のうち定点医療機関からの報告件数を元に算出。

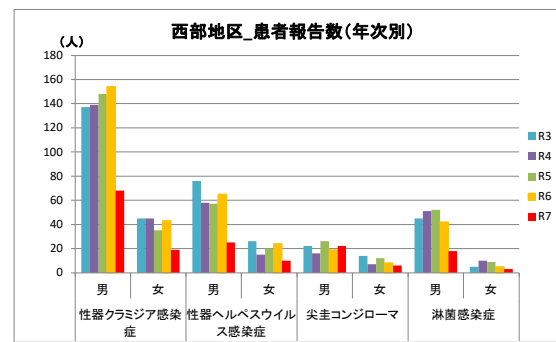
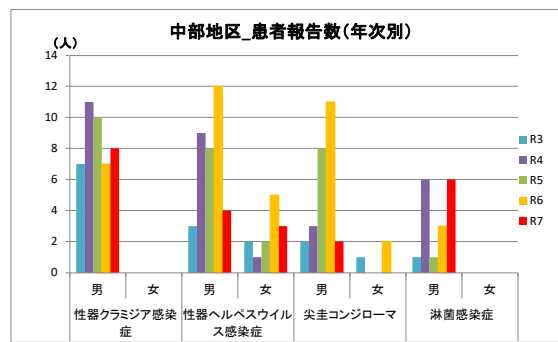
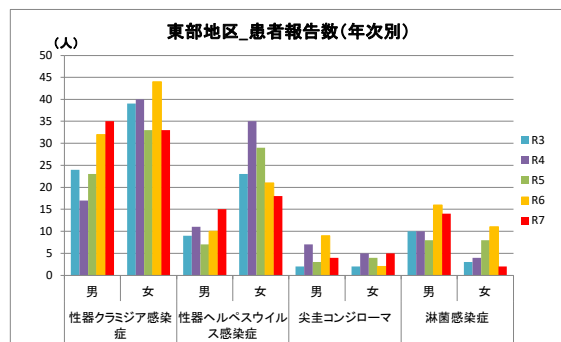
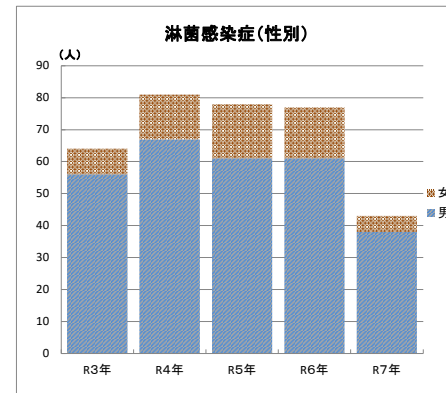
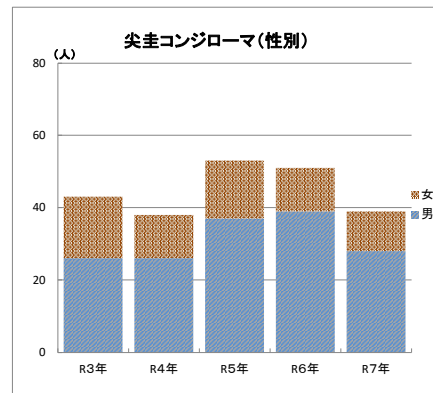
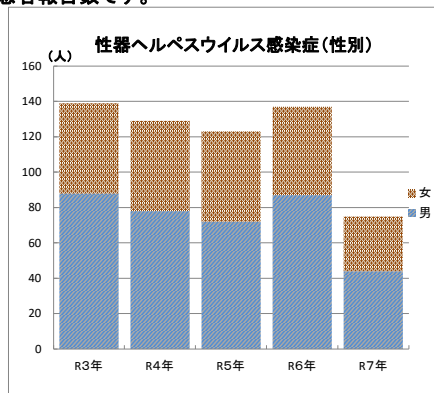
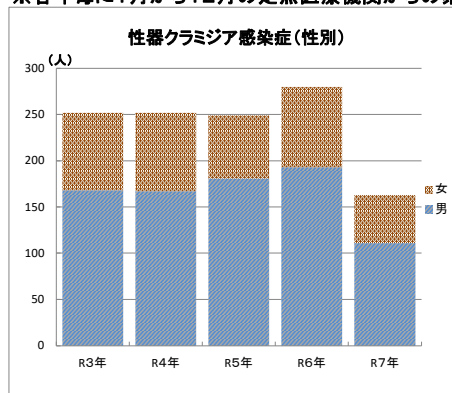
令和6年

定点 数	疾 病 名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1～12月計			対前年累計比率		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
S	性器クラミジア感染症	9	6	15	10	11	21	27	10	37	14	8	22	16	5	21	16	5	21	21	12	33	27	5	32	15	5	20	10	10	20	16	7	23	12	3	15	193	87	280	107%	128%	112%
T	性器ヘルペスウイルス感染症	7	6	13	5	2	7	10	4	14	6	3	9	7	3	10	6	6	12	7	3	10	15	7	22	7	4	11	8	7	15	3	2	5	6	3	9	87	50	137	121%	98%	111%
D	尖圭コンジローマ	7	0	7	5	2	7	2	1	3	2	3	5	3	1	4	3	2	5	2	0	2	2	0	2	6	0	6	2	2	4	0	1	1	5	0	5	39	12	51	105%	75%	96%
7	淋菌感染症	5	3	8	11	3	14	2	1	3	8	1	9	7	2	9	7	0	7	2	1	9	5	2	7	3	0	3	1	1	2	1	1	2	3	1	4	61	16	77	100%	94%	99%
基 幹 5	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	7	1	8	4	2	6	8	6	14	10	2	12	4	3	7	4	4	8	4	3	7	2	1	3	4	2	6	8	1	9	9	4	13	4	6	10	68	35	103	103%	83%	95%
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3	0	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	1	0	1	8	0	8	133%	—	80%
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	100%	0	100%		

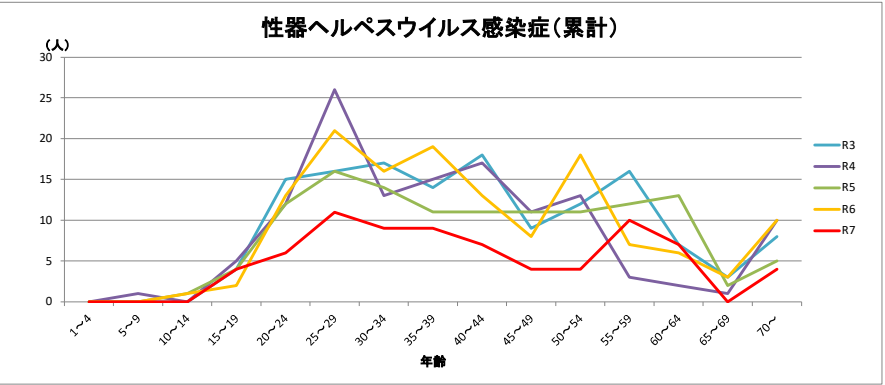
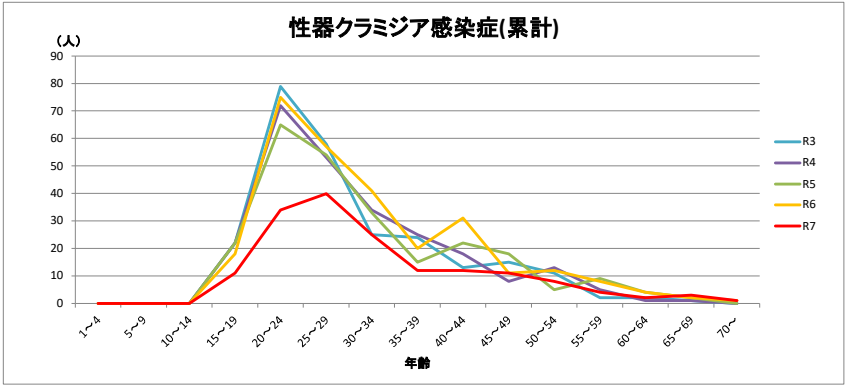
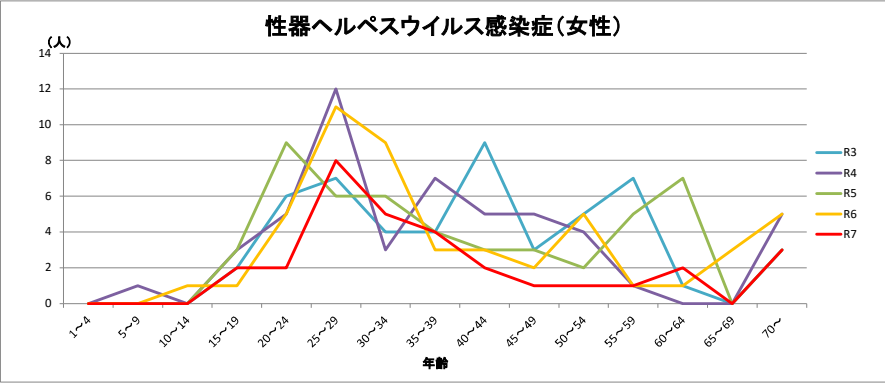
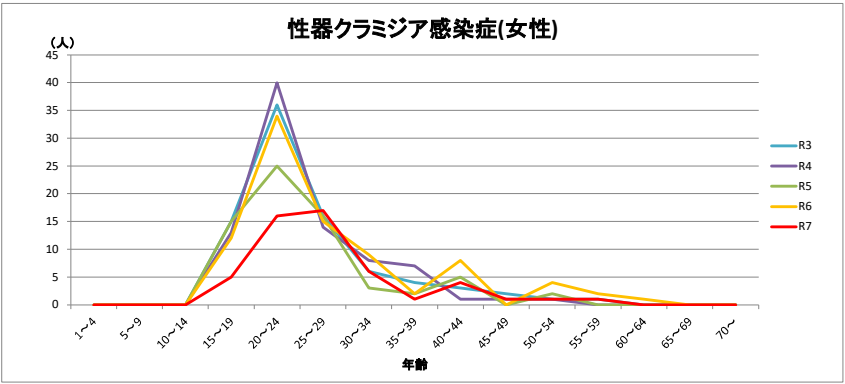
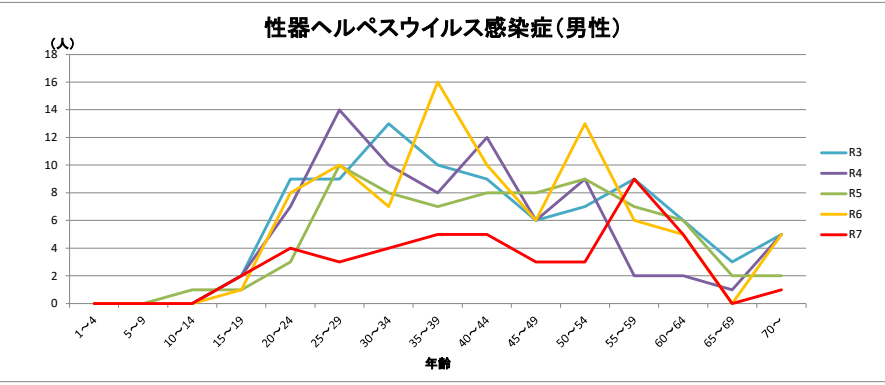
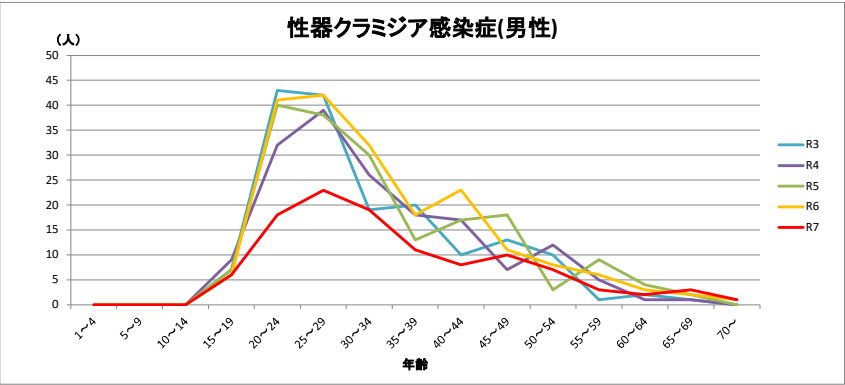
令和7年

定点 数	疾 病 名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			10月計			対前年10月末累計比率		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
S	性器クラミジア感染症	9	3	12	15	4	19	13	6	19	10	9	19	21	3	24	11	7	18	14	5	19	9	1	10	1	7	8	8	7	15							111	52	163	67%	68%	67%
T	性器ヘルペスウイルス感染症	7	4	11	3	2	5	2	4	6	3	4	7	7	1	8	2	4	6	6	5	11	6	1	7	3	1	4	5	5	10							44	31	75	56%	69%	61%
D	尖圭コンジローマ	0	1	1	3	1	4	4	4	8	5	3	8	3	1	4	1	0	1	4	1	5	1	0	1	5	0	5	2	0	2							28	11	39	82%	100%	87%
7	淋菌感染症	3	0	3	4	0	4	5	0	5	2	0	2	3	0	3	5	2	7	4	1	5	5	1	6	3	1	4	4	0	4							38	5	43	67%	36%	61%
基 幹 5	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	5	2	7	9	5	14	5	5	10	6	5	11	3	2	5	6	1	7	7	1	8	2	3	5	3	4	7	3	5	8							49	33	82	89%	132%	103%
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	0	1	1	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							3	1	4	43%	—	57%
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1							2	0	2	200%	—

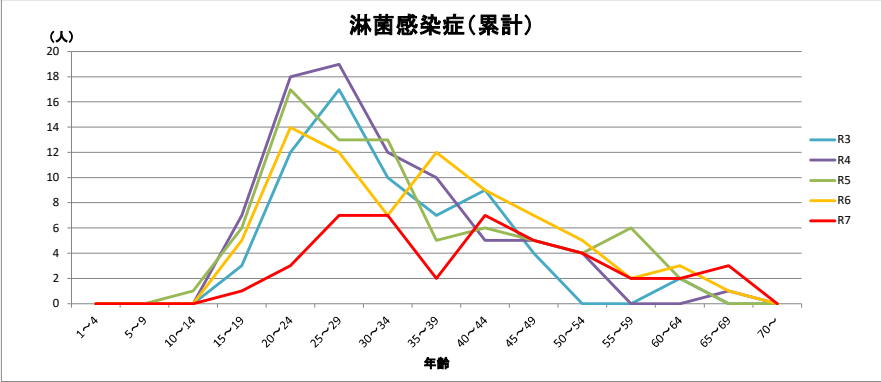
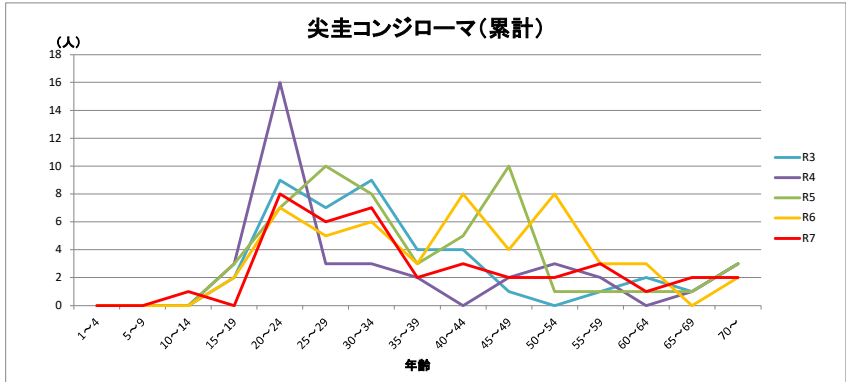
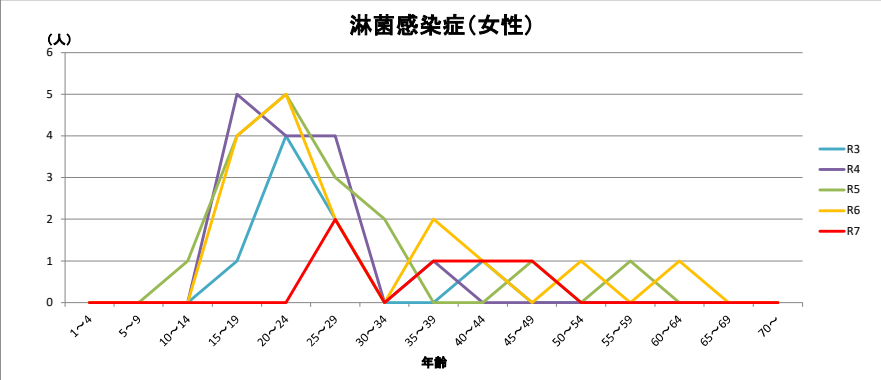
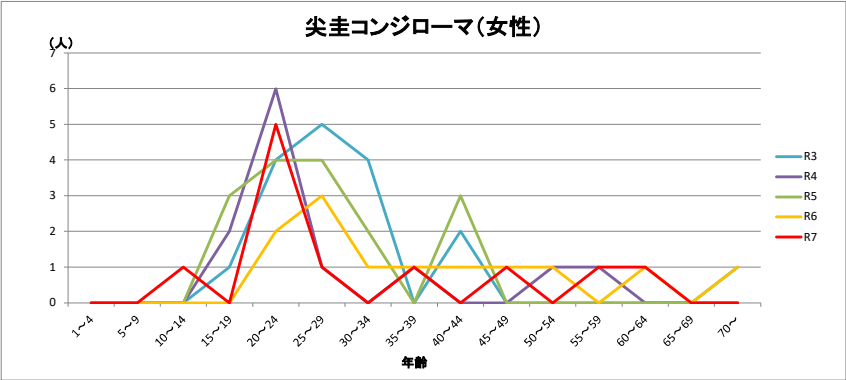
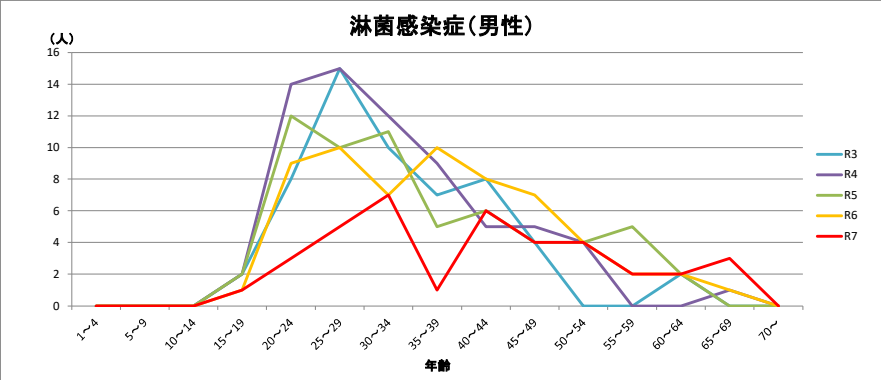
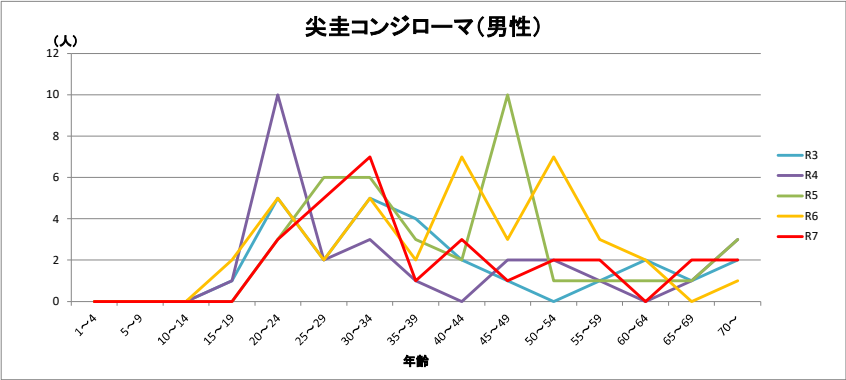
※各年毎に1月から12月の定点医療機関からの累計患者報告数です。



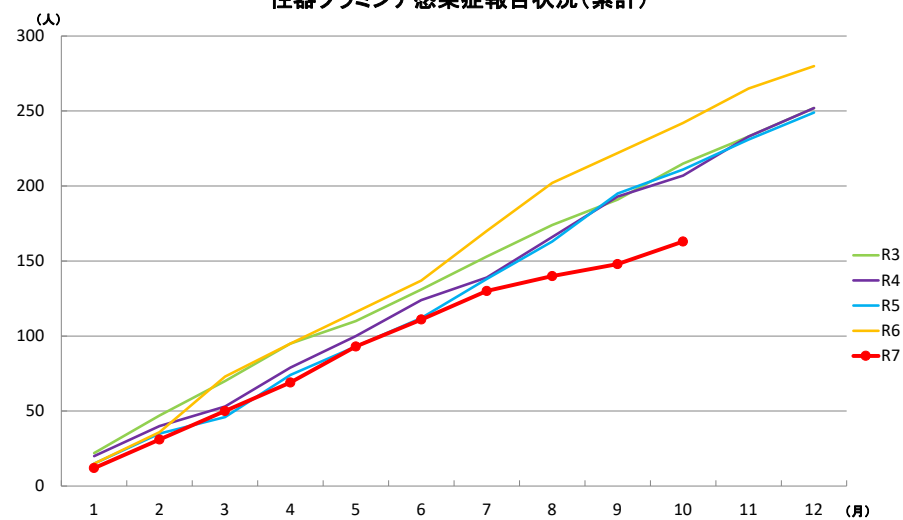
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



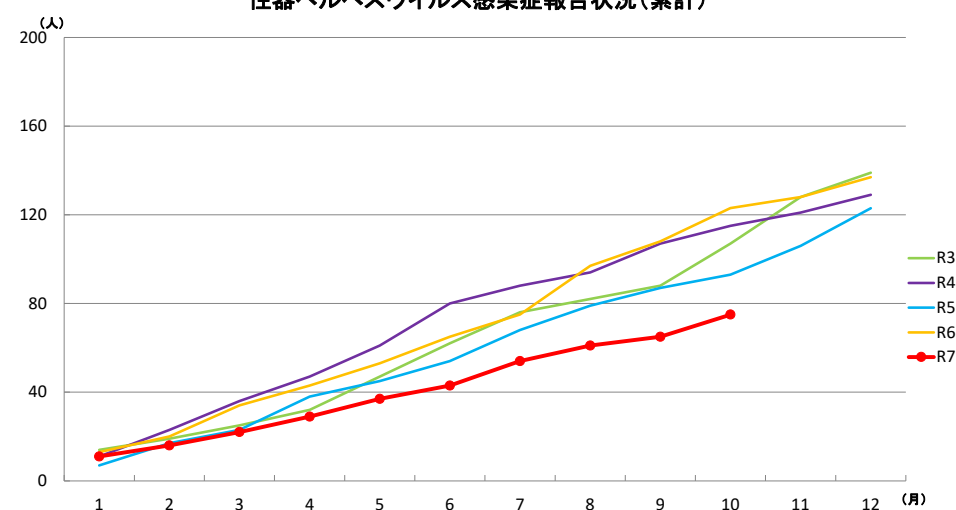
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



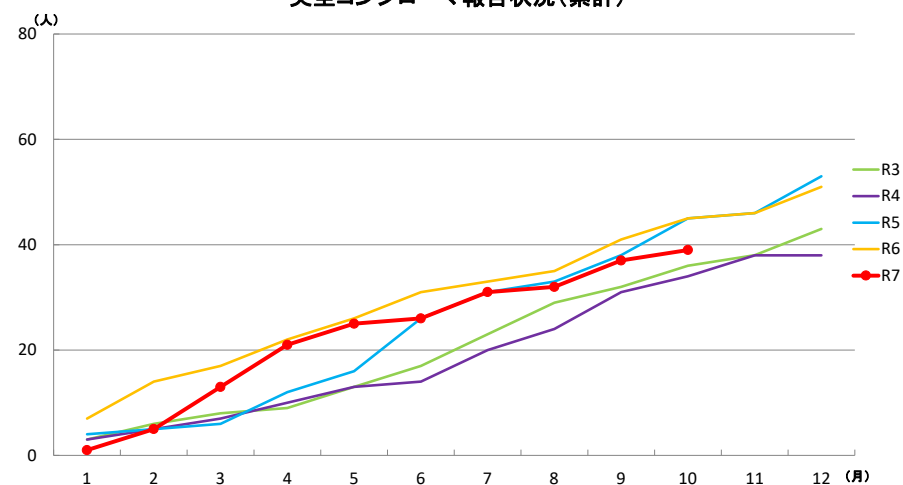
性器クラミジア感染症報告状況(累計)



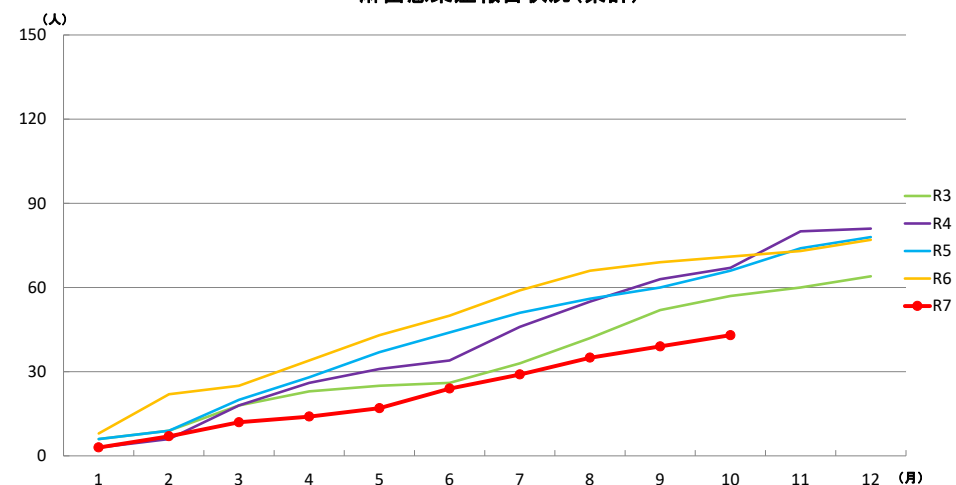
性器ヘルペスウイルス感染症報告状況(累計)

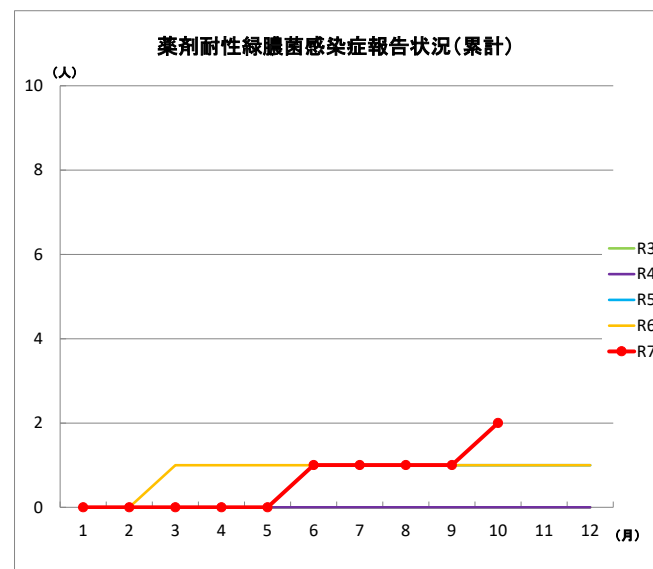
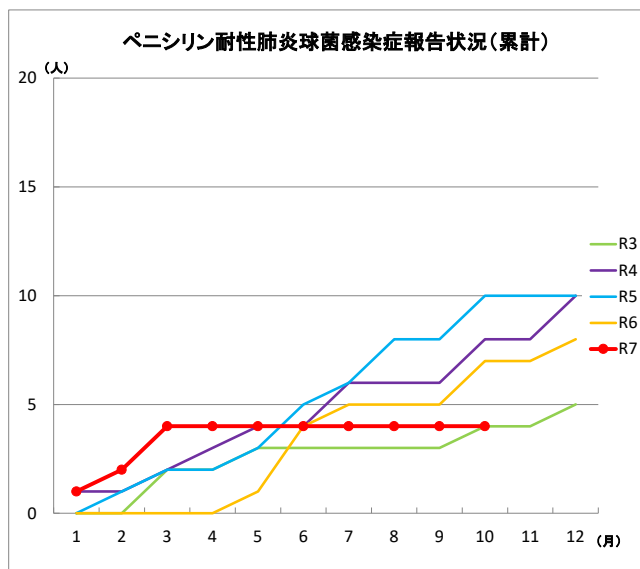
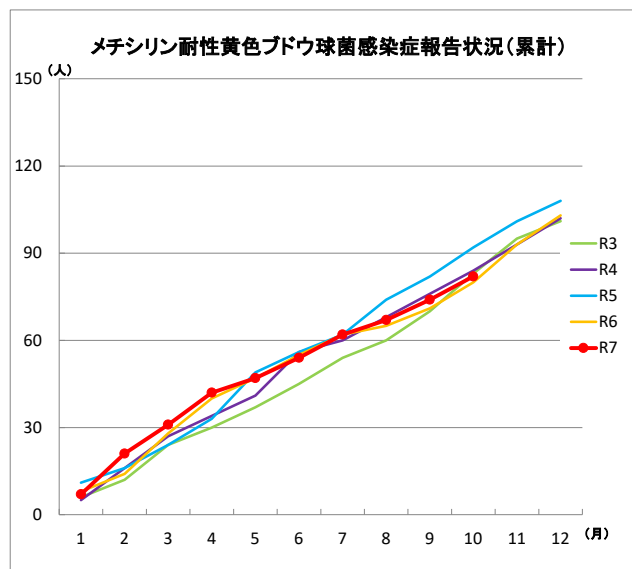
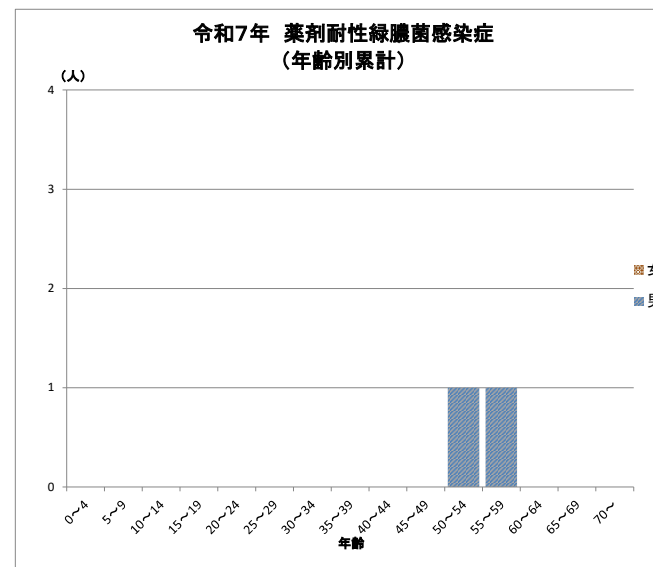
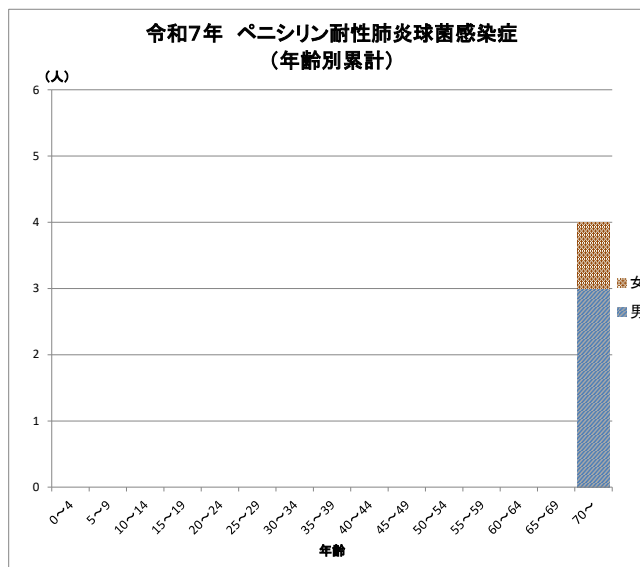
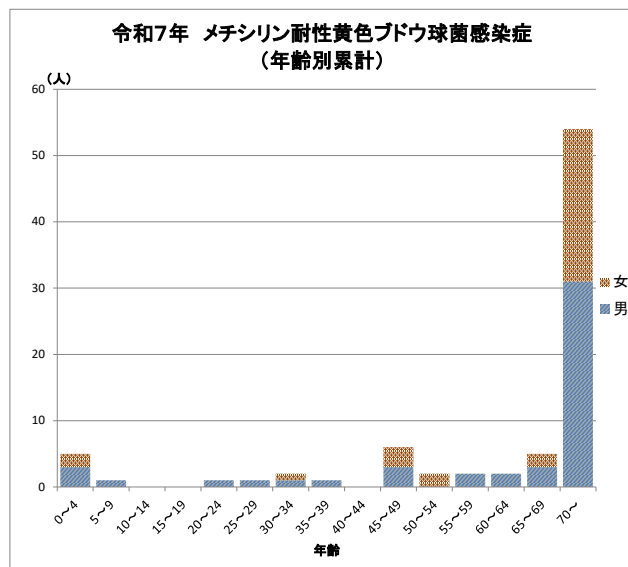


尖圭コンジローマ報告状況(累計)



淋菌感染症報告状況(累計)





鳥取県における感染症発生状況(全数報告分・令和7年)

令和7年10月31日 現在
※()は前年数値

(1)2類感染症

疾 病 名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													10月時点	年間	
急性灰白髄炎													0	(0)	(0)
結核	3 (3)	3 (2)	3 (5)	4 (6)	6 (3)	4 (6)	8 (1)	7 (7)	3 (5)	6 (2)		(5)	47	(40)	(50)
潜在性結核 ※再掲	(1)		(2)	1 (2)	(1)	(2)	1 (1)	2	2			(3)	6	(9)	(13)
疑似症患者 ※再掲													0	(0)	(0)
ジフテリア													0	(0)	(0)
重症急性呼吸器症候群													0	(0)	(0)
中東呼吸器症候群													0	(0)	(0)
鳥インフルエンザ(H5N1)													0	(0)	(0)
鳥インフルエンザ(H7N9)													0	(0)	(0)

(2)3類感染症

疾 病 名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													10月時点	年間	
コレラ													0	(0)	(0)
疑似症 ※再掲													0	(0)	(0)
細菌性赤痢													0	(0)	(0)
腸管出血性大腸菌感染症		(1)	(1)		(5)	(2)	1 (1)	2 (3)	24 (1)	(3)	(3)	(1)	27	(17)	(21)
腸チフス													0	(0)	(0)
パラチフス													0	(0)	(0)

(3)4類感染症

疾 病 名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													10月時点	年間	
マラリア													0	(0)	(0)
E型肝炎						1							1	(0)	(0)
A型肝炎									(1)			(1)	0	(1)	(2)
つつが虫病	1										(1)		1	(0)	(1)
日本紅斑熱					1 (1)	1	(1)	1 (2)	1 (2)	(2)			4	(8)	(8)
重症熱性血小板減少症候群					1	1 (1)			1 (1)				3	(2)	(2)
レジオネラ症	1	2	1	1	3 (2)	1 (1)	2 (1)	2	2 (1)	1 (1)	(2)	(1)	16	(6)	(9)
レプトスピラ症													0	(0)	(0)
デング熱													0	(0)	(0)
チクングニア熱													0	(0)	(0)

(4)5類感染症

疾 病 名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													10月時点	年間	
アメーバ赤痢				(1)			1 (1)			(1)	(2)		1	(3)	(5)
ウイルス性肝炎(E型・A型肝炎を除く)		1							(1)	1			2	(1)	(1)
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)													0	(0)	(0)
急性脳炎(ウエストナイル脳炎及び日本脳炎等を除く)	1 (1)	1	1	(1)			1			1 (1)		(3)	5	(3)	(6)
クリプトスポリジウム症													0	(0)	(0)
クロイツフェルト・ヤコブ病			(1)										0	(1)	(1)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 (3)		1	(2)	1 (1)	1		(1)		(3)	(1)		4	(10)	(11)
後天性免疫不全症候群						2			(1)				2	(1)	(1)
無症候性キャリア ※再掲													0	(0)	(0)
AIDS ※再掲									(1)				0	(1)	(1)
その他						2							2	(0)	(0)
侵襲性インフルエンザ菌感染症			(1)		1	1 (1)					(1)		2	(2)	(3)
侵襲性髄膜炎菌感染症													0	(0)	(0)
侵襲性肺炎球菌感染症	5 (1)	1	1 (2)	(3)	3 (3)		2	2 (1)		(1)	(1)	(1)	14	(11)	(13)
水痘(入院例に限る。)					(1)		(1)						0	(2)	(2)
梅毒	9 (2)	2 (5)	2 (1)	3 (2)	(2)	(5)	5 (7)	1 (6)	6 (2)	1 (5)	(2)	(2)	29	(37)	(41)
播種性クリプトコックス症	1	1	1	(1)									3	(1)	(1)
破傷風								(1)					0	(1)	(1)
薬剤耐性アシネトバクター感染症													0	(0)	(0)
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症				(1)	(2)				(1)				0	(4)	(4)
ジアルジア症													0	(0)	(0)
百日咳	28 (5)	44 (6)	74 (2)	120 (1)	98 (1)	100 (7)	104 (37)	47 (55)	39 (54)	14 (113)	(59)	(43)	668	(281)	(383)
麻しん					1								1	(0)	(0)
風しん													0	(0)	(0)

令和7年10月31日 現在

※()は健康保菌者

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況

① 月別件数

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
													10月時点	年間
令和7年							1 (1)	2	24 (2)				27 (3)	27 (3)
令和6年		1	1		5 (2)	2 (1)	1 (1)	3	1 (1)	3 (1)	3	1	17 (6)	21 (6)
令和5年						1		5	9 (3)	2 (2)		2 (1)	17 (5)	19 (6)
令和4年		2 (2)				1	2	3			3 (1)	3	8 (2)	14 (3)
令和3年	1		3 (2)	1 (1)	2 (1)	2 (1)	1 (1)						10 (6)	10 (6)
令和2年			1		2 (1)	7 (1)	2	3 (2)	7 (4)	3 (1)		1	25 (9)	26 (9)
令和元年		1	1 (1)		6 (1)	1	2		4 (1)	3 (2)	4	2 (2)	18 (5)	24 (7)
平成30年					3	1	4 (2)	9	4	1			22 (2)	22 (2)
平成29年	1 (1)			1	1 (1)	7 (3)	5 (2)	1			4 (3)	1 (1)	16 (7)	21 (11)
平成28年						5 (4)	3 (1)	6 (1)	1			1 (1)	15 (6)	16 (7)

② 血清型別件数

区 分	O8	O26	O29	O55	O103	O111	O125	O128	O145	O146	O157	型不明	計
令和7年					1 (1)						25 (1)	1 (1)	27 (3)
令和6年		1		2 (2)		2				1 (1)	13 (1)	2 (2)	21 (6)
令和5年		1 (1)									17 (4)	1 (1)	19 (6)
令和4年					3					2 (2)	8	1 (1)	14 (3)
令和3年					4 (2)					1 (1)	3 (1)	2 (2)	10 (6)
令和2年	1	4 (2)	1		4 (2)	3 (1)	1 (1)	1		1 (1)	7	3 (2)	26 (9)
令和元年					3 (1)	4 (1)					15 (3)	2 (2)	24 (7)
平成30年		2			3				1		16 (2)		22 (2)
平成29年		1			2 (1)	4 (3)				1 (1)	10 (3)	3 (3)	21 (11)
平成28年		1 (1)									14 (5)	1 (1)	16 (7)

③ 年齢別件数

区 分	～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
令和7年			2	3	9	3 (1)	3 (1)	4	2	1 (1)		27 (3)
令和6年	3	3	1	3 (2)	5 (1)		2 (1)	1 (1)	2 (1)	1		21 (6)
令和5年	1	2 (1)	1	1	4 (1)	2 (1)	4 (3)	2			2	19 (6)
令和4年	5	1	2	1	1	2 (1)				2 (2)		14 (3)
令和3年	1		1 (1)		1 (1)			1 (1)	1 (1)	3 (2)	2	10 (6)
令和2年	7	2	2	2	1 (1)	4 (4)	3 (1)	3 (3)			2	26 (9)
令和元年	9 (2)	2			4 (3)	2		1 (1)	3 (1)	3		24 (7)
平成30年	2	2			10 (1)	3 (1)	1	2	1		1	22 (2)
平成29年	3 (1)	1	2 (1)	2 (1)		2 (2)	2 (2)	4 (3)	4 (1)		1	21 (11)
平成28年	4	4 (3)		1	2 (1)	3 (2)	1 (1)				1	16 (7)

④ 地区別件数

区 分	東部地区	中部地区	西部地区	計
令和7年	2	4 (1)	21 (2)	27 (3)
令和6年	2	(1)	6	13 (5)
令和5年	3	(1)	7 (1)	9 (4)
令和4年	5	(1)	6	3 (2)
令和3年	4	(2)	3 (2)	10 (6)
令和2年	3		15 (5)	8 (4)
令和元年	6	(2)	14 (3)	4 (1)
平成30年	7		5	10 (2)
平成29年	1		8 (4)	12 (7)
平成28年	2	(1)	12 (5)	2 (1)

鳥取県病原微生物検出情報

(令和7年10月検出分 検体採取 令和7年9月及び10月)

令和7年11月14日
鳥取県衛生環境研究所

1 急性呼吸器感染症

臨床診断名が急性呼吸器感染症の検体49件について検査を実施したところ、以下のとおりの結果であった。

○検査対象（ウイルス）

ライノ、メタニューモ、インフルエンザ-A型及びB型、パラインフルエンザ1-4、RS-A型及びB型、ボカ、SARS-CoV-2、エンテロ、アデノ、コロナNL63（※1）、コロナOC43（※2）

○検査対象（細菌）

百日咳菌、*Bordetella holmesii*、*B. parapertussis*（※1）、マイコプラズマ（※1）

※1 5月21日搬入検体分より実施。

※2 10月1日搬入検体分より実施。

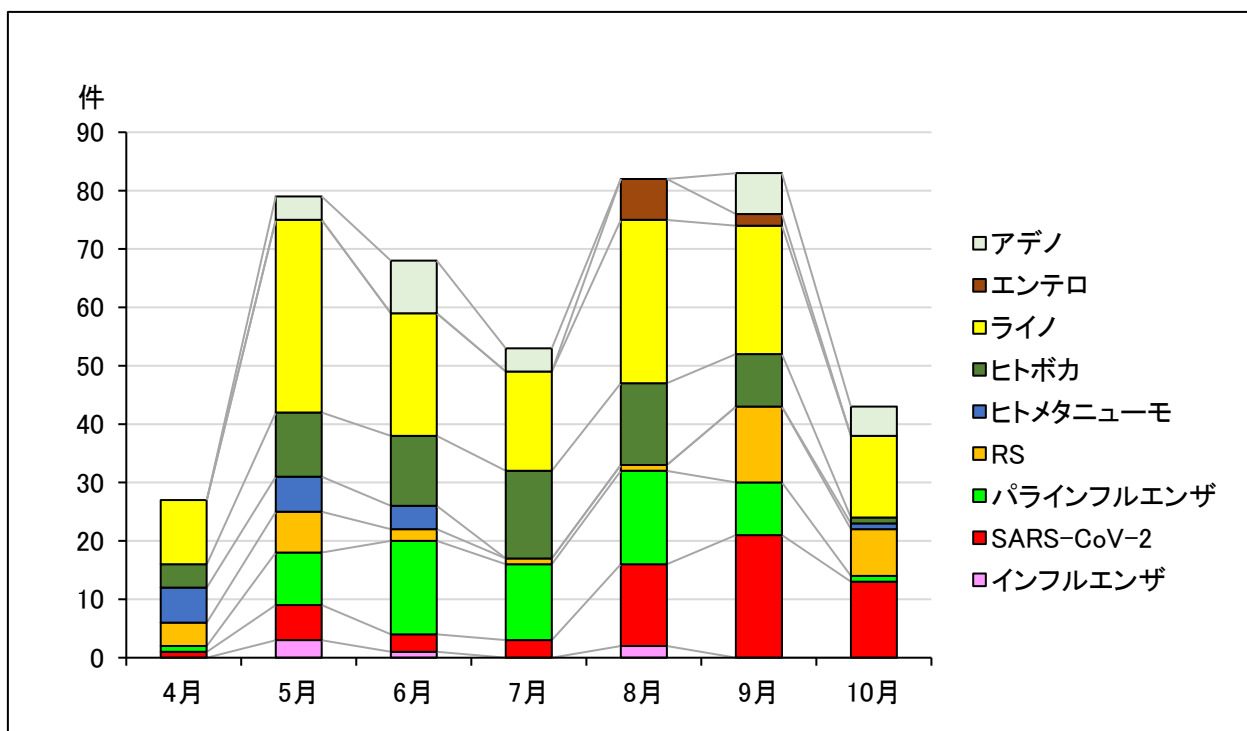
○検出結果

49件中36検体（73%）から上記対象病原体が検出された。内訳は、ライノ：14件、ボカ：1件、ヒトメタニューモ：1件、SARS-CoV-2：13件、パラインフルエンザ2：1件、アデノ：1件、マイコプラズマ：2件、RS-A型：1件、RS-B型：5件であった。4月から10月検出分と合わせた年齢別検出数は表1のとおり（ただし、検出件数は重複検出を含む。）。

表1. 急性呼吸器感染症の病原体、年齢別検出件数（令和7年4月～10月検出分）

病原体年齢別検出数（検出月/累積）																
年齢	0-4		5-9		10-19		20-39		40-59		60-79		80≧		合計	
標本数	17	173	3	27		8	4	29	10	65	10	85	5	37	49	424
ライノ	9	102	1	11		4		6	4	14		8		1	14	146
ボカ	1	61		1				1				2		1	1	66
ヒトメタニューモ		9							1	2		6			1	17
RS-A	1	2								1		2			1	5
RS-B	3	15		1				1		1	2	4		2	5	24
SARS-CoV-2	2	8		1		1	1	5	4	12	3	21	3	13	13	61
パラインフルエンザ1		1										1				2
パラインフルエンザ2	1	5		1								2			1	8
パラインフルエンザ3		15								6		6		5		32
パラインフルエンザ4		19		1						1		2		1		24
アデノ		15		1			1	3							1	19
エンテロ		9														9
インフルエンザA型										1						1
インフルエンザB型		1				2		1		1						5
百日咳				1								1				2
コロナNL63		2										1				3
コロナOC43																0
マイコプラズマ		5		1		1	1	2		1	1	1			2	11
検出せず	1	14	2	10		1	2	15	2	26	4	31	2	14	13	111

図 1. 月別主要ウイルス検出状況（令和 7 年 4 月～10 月検出分）



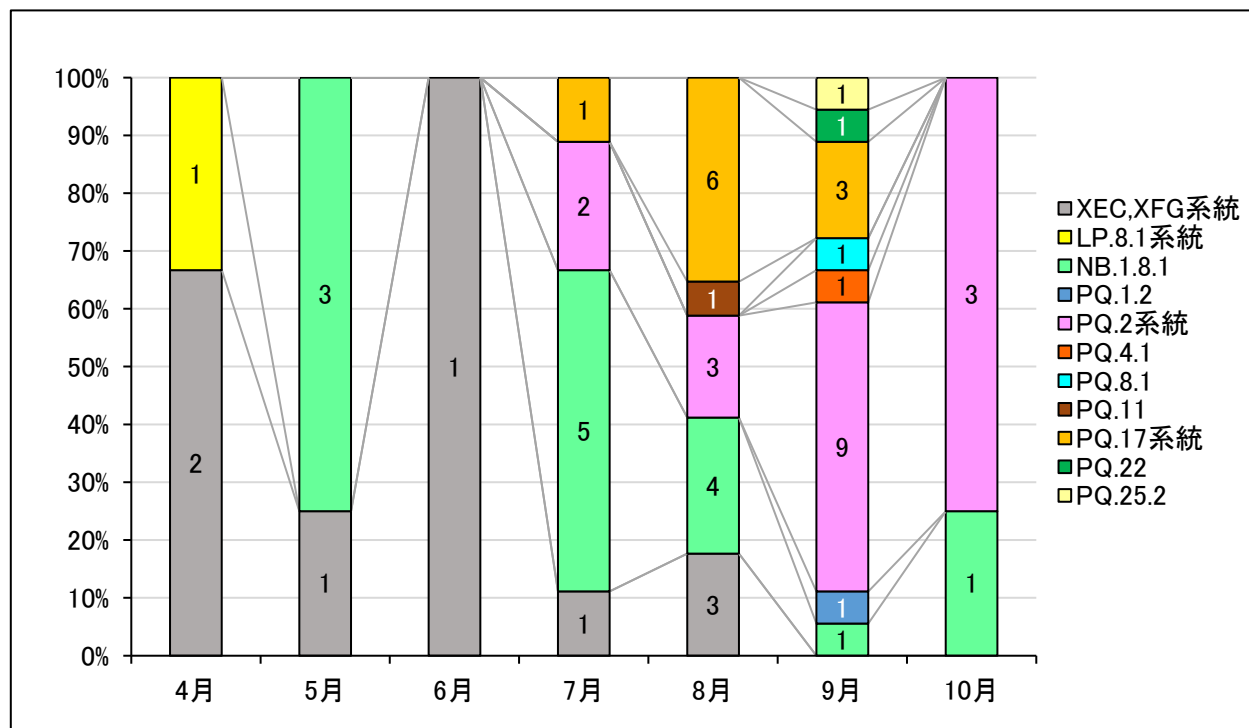
SARS-CoV-2 の系統は表 2 及び図 2 に示すとおり、NB. 1. 8. 1 が 1 件、PQ. 1. 2 が 1 件、PQ. 2 が 7 件、PQ. 2. 1 が 3 件、PQ. 2. 5 が 1 件、PQ. 4. 1 が 1 件、PQ. 8. 1 が 1 件、PQ. 17 が 2 件、PQ. 17. 1 が 1 件、PQ. 22 が 1 件、PQ. 25. 2 が 1 件、解析不能が 3 件であった。国立感染症研究所が公開している全国のゲノムサーベイランスによる系統別検出状況でも、NB. 1. 8. 1 系統と、PQ. 2 や PQ. 2. 1 などの NB. 1. 8. 1 系統の下位系統が依然大多数を占めている。

表 2. SARS-CoV-2 ゲノム解析結果（令和 7 年 10 月検出分）

検体採取年月日	年齢	型別
R7. 9. 5	70 代	PQ. 22
R7. 9. 15	50 代	PQ. 4. 1
R7. 9. 15	40 代	PQ. 17. 1
R7. 9. 8	10 歳未満	解析不能
R7. 9. 16	10 代	PQ. 2
R7. 9. 8	70 代	PQ. 2. 1
R7. 9. 8	70 代	解析不能
R7. 9. 9	70 代	PQ. 17
R7. 9. 11	80 歳以上	PQ. 2. 1
R7. 9. 16	50 代	PQ. 25. 2
R7. 9. 18	70 代	PQ. 17
R7. 9. 23	80 歳以上	PQ. 8. 1
R7. 9. 24	70 代	PQ. 1. 2
R7. 9. 28	20 代	PQ. 2. 1
R7. 9. 28	80 歳以上	PQ. 2
R7. 9. 20	10 歳未満	PQ. 2

R7. 10. 1	10 歳未満	PQ. 2
R7. 9. 17	40 代	解析不能
R7. 9. 22	80 歳以上	PQ. 2
R7. 9. 30	50 代	PQ. 2. 5
R7. 10. 6	70 代	PQ. 2
R7. 10. 9	40 代	PQ. 2
R7. 10. 2	50 代	NB. 1. 8. 1

図 2. 月別 SARS-CoV-2 ゲノム解析結果（令和 7 年 4 月～10 月検出分）



2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の 8 件について検査を行ったところ、サポウイルスが 3 件検出された。ノロウイルスと感染性胃腸炎の原因と考えられるアデノウイルスは検出されなかった。

3 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

臨床診断名が A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の 1 件について検査を行ったところ、A 群溶血性レンサ球菌が 1 件（T 型別 B3264 型:1 件）分離された。B3264 型は咽頭炎で多くみられる型である。

4 咽頭結膜熱

臨床診断名が咽頭結膜熱の 1 件について検査を行ったところ、咽頭結膜熱の原因と考えられるアデノウイルスは検出されなかった。

5 RS ウイルス感染症

臨床診断名が RS ウイルス感染症の 2 件について検査を行ったところ、RS ウイルス B 型が 2 件検出された。

月別ウイルス等分離・検出状況（令和6年4月～令和7年10月）

ウイルスの種類		令和6年													令和7年												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
エンテロ	エンテロウイルス 型不明				1				1		2	1	1	6	1						4	4	1				10
	コクサッキーA 2型													0													0
	コクサッキーA 4型													0						1	2						3
	コクサッキーA 5型						1							1													0
	コクサッキーA 6型							1						1													0
	コクサッキーA 9型													0													0
	コクサッキーA 10型													0													0
	コクサッキーA 16型									2	2	2		6													0
	コクサッキーB 5型													0													0
	エコー 3型													0													0
	エコー 5型													0													0
	エコー 6型													0													0
	エコー 11型											1	1	2													0
	エコー 18型													0													0
インフルエンザ	エンテロウイルス A71型													0													0
	その他のエンテロウイルス									1				1													0
	ライノ													0				25	25	24	27	14	24	7			146
	インフルエンザAH3型													0			1										1
	インフルエンザA(H1N1)pdm09									1		4	9	14	7	3	1				1						12
	インフルエンザB型系統不明													0													0
	インフルエンザB型ピクトリア系統				3									3				1	2	1		1					5
	インフルエンザB型山形系統													0													0
	パラインフルエンザ													0				3	10	19	18	8	8				66
	ムンプス													0													0
	RS-A													0				1	1	1	1	1	2				7
	RS-B													0				8	4	2	2	5	9	5			35
	A群ロタ													0						1							1
	C群ロタ													0													0
アデノ	アストロ				1	1				1			2	5	1				1								2
	ノロ GI型													0													0
	ノロ GII型				1			1						2				4	4	5	2						15
	サボ 型不明											1		1		2	3	2		1	5	3	4	2			22
	サボ GI型													0													0
	サボ GV型													0													0
	アデノ 型不明				1				1	1	1		3	7			1	2	5	3		1	3				15
	アデノ 1型													0				1	2	1	1	1	1				7
	アデノ 2型													0					3								3
	アデノ 3型						1							1													0
	アデノ 4型													0	1												1
	アデノ 5型													0				1	1								2
	アデノ 6型													0				2									2
	アデノ 7型													0													0
ヘルペス	アデノ 8型									2		1		3	1						1						2
	アデノ 37型					1								1				1			1	1					3
	アデノ 40/41型													0								1					1
	アデノ 54型													0								4					4
	アデノ 56型													0													0
	アデノ 64型													0													0
	ヘルペス 3													0				1		1	3						5
	ヘルペス 4													0													0
	ヘルペス 5													0													0
	ヘルペス 6													0													0
	ヘルペス 7									1				1													0
	バルボウイルスB19													0													0
	A群レンサ球菌									1				1				1	3	6		1	4				15
	黄色ブドウ球菌													0													0
	B群レンサ球菌													0			2										2
その他	ヒトメタニューモ													0				12	2	2		1					17
	ボカ													0				7	11	20	15	7	6				66
	SARS-CoV-2													0				4	5	1	9	17	21	4			61
	HCoV-NL63													0					2		1						3
	HCoV-OC43													0													0
	百日咳													0				1			1						2
	マイコプラズマ													0						3	1	2	4	1			11
	セレウス菌													0													0